

教室一年の歩み

北海道大学医学部産婦人科



令和3年度

北大産婦人科同門会・WIND学術講演会

<Web 開催>

令和3年12月18日（土）

N15W7,Kita-ku,Sapporo,Japan 060-8638・tel:011-706-5941・fax:011-706-7711

北大産婦人科学教室 1年の主なできごと

〔2020(令和2年) 12月～2021(令和3年) 11月〕

(＊個人情報保護の観点から、結婚・出産等の情報は掲載しておりません。)

(令和2年)

12月	1	火	日本超音波医学会第93回学術集会 (web)～3日	(仙台)
	3	木	第65回日本生殖医学会学術講演会・総会 (web) ～4日	(東京)
	4	金	JGOG理事会・総会	
	5	土	北大産婦人科同門会学術講演会 (web)	(札幌パークホテル)
	7	月	セジュール発売記念講演会 in Hokkaido (web) Session 3 渡利教授座長	
	9	水	第6回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会 (web) ～15日	(金沢)
	10	木	第2回渉外委員会 (web)	
	11	金	第3回学術委員会理事会 (web) /第3回学術委員会 (web)	
	12	土	日産婦令和2年度事業計画会議/第3回理事会 第25回日本生殖内分泌学会学術集会 (web)	(仙台)
	13	日	第6回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会 (web) ～15日	(金沢)
	14	月	東京大学産婦人科学教室講演会 渡利教授講演	
	19	土	日本婦人科腫瘍学会第7回研修会 (web) /第5回理事会 第7回日本婦人科腫瘍学会研修会 (web) ～25日	(都市センターホテル)
	20	日	日本婦人科腫瘍学会試験・面接	(TKP札幌カンファレンスセンター)
	21	月	第30回日本産婦人科・新生児血液学会学術集会 (web)	(福岡)
	22	火	第45回日本外科系連合学会学術集会 (web) ～24日	(久留米)

(令和3年)

1月	16	土	第10回婦人科周術期セミナー (web)	(東京)
	21	木	セジュール全国WEB講演会 渡利教授特別講演	
	22	金	日産婦第4回常務理事会 (web) 日本周産期・新生児医学会第39回周産期学シンポジウム (web) ～23日	(札幌市)
	29	金	第62回日本婦人科腫瘍学会学術講演会～31日 (ハイブリッド)	(仙台国際センター)
2月	5	金	第17回日本婦人科がん会議 (web) ～6日 ランチョンセミナー 渡利教授座長 (web)	(静岡) (ロイトン札幌)
	6	土	ランチョンセミナー 渡利教授演者 (web) 第14回日本性差医学・医療学会学術集会 (web) ～7日	(ロイトン札幌)
	8	月	リムパーザ講演会 渡利教授座長 (web)	
	10	水	Ovarian Cancer Conference in Kagawa 渡利教授講演 (web)	
	12	金	北産婦学会新代議員会 (web)	
	13	土	WIND研修発表会 (web)	
	16	火	セジュールWEBセミナー -適正使用を考える-渡利教授座長	
	18	木	日本婦人科腫瘍学会常務理事会 (web)	
	20	土	第29回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会 (web) ～21日	(新潟)
	25	木	第22回山陰婦人科腫瘍研究会 渡利教授特別講演 (web)	
	26	金	NRG Oncology-Japan 定期総会 (web) /同 meeting (web) 第27回日本胎児心臓病学会学術集会 (ハイブリッド)	(仙台)
	27	土	第33回北海道骨粗鬆症研究会学術集会 (web)	
3月	1	月	翟天玥 先生 教室助教就任	
	2	火	日産婦未来委員会 (web)	
	4	木	蝦名先生・森川先生教授就任祝賀会 (web)	(ニューオータニイン札幌)
	5	金	学術担当理事会 (web) /日産婦第4回学術委員会 (web) /渉外委員会 (web) 第9回日本婦人科ロボット手術学会 (web)	(松江)

	6	土	日産婦第4回理事会	
	12	金	日本婦人科腫瘍学会常務理事会 (web)	
	13	土	第31回東北婦人科腫瘍研究会 渡利教授特別講演 第27回日本産婦人科乳腺医学会 (web) ～14日	(盛岡) (札幌)
	14	日	第27回日本産婦人科乳腺医学会ランチョンセミナー 渡利教授座長 (web)	
	15	月	セジュラWEBセミナー -再発治療を考える- 渡利教授座長	
	18	木	第24回山口県婦人科悪性腫瘍研究会 渡利教授特別講演	
	24	水	産婦人科疾患啓発セミナー 渡利教授座長 (web)	
	25	木	19:00～20:30セジュラ新発売記念講演会 in Fukui 渡利教授講演 (web)	
	26	金	15:00～17:00日本婦人科腫瘍学会理事会 (web)	
4月	1	木	森川 守先生 関西医科大学産科学・婦人科学講座産科(附属病院)担当診療教授ご就任	
	7	水	Ovarian Cancer Round Table Discussion 渡利教授座長 (web)	(札幌市)
	17	土	日本臨床細胞学会理事候補懇談会/同学会第1回理事会 (web) WIND理事会 (web)	
	22	木	第73回日産婦学会学術講演会(ハイブリッド)～25日	(朱鷺メッセ)
	23	金	健康・医療活動賞受賞講演 渡利教授座長	
	24	土	未来委員会 座長/ランチョンセミナー 渡利教授座長	
	25	日	高得点日本語演題2(女性ヘルスケア) 渡利教授座長 優秀日本語演題賞選考委員会/第45回全国産婦人科教授との懇談会	
5月	1	土	馬詰 武 先生 講師昇任 眞山学徳 先生 博士研究員採用(米国へ)	
	7	金	第65回日本新生児成育医学会・学術集会 (web) ～9日	(札幌)
	8	土	北大産婦人科同門会セミナー (web) WIND第14回定時総会 (web)	(ニューオータニイン札幌)
	9	日	第54回北大産婦人科同門会・WIND合同ゴルフ大会 島根県産科婦人科学会・島根県産婦人科医会学術セミナー (web) 渡利教授講演	(札幌国際カントリークラブ)
	14	金	中間審査・齊藤良玄先生 (web)	
	15	土	日産婦POP (web)	
	16	日	日産婦POP (web)	
	17	月	婦人科がんゲノムWEBカンファレンス 渡利教授座長	
	21	金	第94回日本超音波医学会学術集会(ハイブリッド)	(神戸)
	22	土	第37回日本産婦人科感染症学会学術集会 (web) 第86回日本温泉気候物理医学会学術集会 (web) ～23日	(金沢)
	26	水	日産婦渉外委員会 (web)	
	27	木	日本婦人科腫瘍学会第1回常務理事会 (web)	
	28	金	第1回学術担当理事会 (web) / 日産婦第1回学術委員会 (web)	
	29	土	日産婦第1回理事会 (web) 女性アスリート健康サポート北海道 (FAHSAH) 会員総会・研修会 (web) 第62回日本卵子学会学術集会(帯広・ハイブリッド)～30日	(ホテル日航ノースランド帯広)
	30	日	TAOG JKT Officers' meeting (web)	
6月	2	水	日産婦地方連絡委員会 (web)	
	5	土	第62回日本臨床細胞学会総会 春期大会(千葉)～6日 シンポジウム1・ランチョンセミナー 渡利教授座長/第2回理事会 (web)	
	12	土	WIND研修説明会 (web)	
	15	火	眞山先生学位論文公开发表会 (web)	
	16	水	エキスパートセミナーin北海道 渡利教授座長 (web)	
	18	金	第26回日本緩和医療学会学術大会(横浜・ハイブリッド)～19日	
	25	金	第21回日本抗加齢医学学会総会(京都・ハイブリッド)～27日	

26	土	日産婦第2回臨時理事会 (web) 北海道癌談話会春季シンポジウム (ハイブリッド～フラテ) 日産婦定時総会/第3回臨時理事会 第49回日本女性心身医学会学術集会 (web) ～27日	
30	水	眞山学徳 先生 博士学位授与	
7月	2	金 第45回日本遺伝カウンセリング学会学術集会 (web) ～4日	(盛岡)
	3	土 第18回北海道周産期談話会 スポンサーセミナー 渡利教授座長	(札幌医科大学)
	4	日 北海道思春期研究会 (web)	
	8	木 教室100周年第1回打合せ (web)	
	10	土 第17回北海道生殖医療カンファレンス 渡利教授座長 (web)	
	11	日 第57回日本周産期・新生児医学会学術集会 (ハイブリッド) ～13日	(宮崎)
	15	木 日本婦人科腫瘍学会第2回常務理事会 (web) /理事会 (web) 第39回日本受精着床学会総会・学術講演会～16日	(神戸国際会議場)
	16	金 第63回日本婦人科腫瘍学会～18日	(大阪国際会議場)
	18	日 倫理セミナー 渡利教授座長 (web) ランチョンセミナー 渡利教授演者 (web)	
	20	火 ゼジュラ全国WEB講演会 渡利教授演者	
	26	月 第2回北海道臨床細胞学会理事会 (web)	
	29	木 Ovarian Cancer Round Table Meeting 渡利教授座長 (web)	(札幌市)
	30	金 日産婦常務理事会 (web)	
	31	土 日産婦サマースクール～8/1 (web)	
8月	1	日 シャロン・ハンリー先生 北大環境健康科学研究教育センター特任講師 就任 日産婦サマースクール (web)	
	4	水 卒業アルバム用写真撮影	
	5	木 第95回兵庫県産科婦人科学会学術集会 渡利教授講演 (web)	
	7	土 第61回日本先天異常学会学術集会 (web) ～8日	(東京)
	13	金 第71回日本東洋医学会学術総会 (web) ～15日	
	26	木 教室100周年第2回打合せ (web)	
	27	金 第43回日本母体胎児医学会学術集会 (ハイブリッド) ～28日	(名古屋)
	28	土 第68回北日本産科婦人科学会 (web・新潟) ～29日 ランチョンセミナー 渡利教授演者	(京王プラザホテル札幌)
	29	日 日産婦2次試験	(ACU-Y・読売北海道ビル3F)
	30	月 IGCS2021 (web・ローマ)	
9月	2	木 日産婦教育委員会 (web)	
	3	金 第22回JSAWI2021 annual symposium (ハイブリッド) ～4日 第45回日本女性栄養・代謝学会学術集会 (web) ～4日 第10回日本DOHaD学会学術集会 (web) ～4日 第2回学術担当理事会 (web) /第2回学術委員会 (web) /第2回渉外委員 (web)	(淡路)
	4	土 日産婦第2回理事会 (web) 第10回国際フレームワーク・ジャパン研究協議会学術集会 (web) 第40回日本思春期学会総会・学術集会 (web) ～5日	
	10	金 第18回日本婦人科がん会議 (ハイブリッド・福井) ～11日 世話人会 (web)	
	11	土 第61回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 (ハイブリッド・横浜) ～13日 第30回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会 (web) ～12日 第3回日本不育症学会学術集会 (web) ～17日	
	12	日 シンポジウム渡利教授座長 (web)	
	18	土 第34回日本サイコオンコロジー学会総会 (web) ～19日	
	25	土 第44回日本産婦人科手術学会 (城山ホテル鹿児島完全web) ～26日 ランチョンセミナー 渡利教授講演 (web) 第5回日本リンパ浮腫治療学会学術総会 (web) ～26日	
	26	日 手術学会理事会 (web)	

27	月	Ovarian Cancer Scientific Exchange Meeting 2021 in 北海道・九州 渡利教授座長	(京王プラザホテル札幌)
30	木	日本婦人科腫瘍学会常務理事会 (web)	
10月	2	土 第47回日本産婦人科医会学術集会 (札幌プリンスホテル・web) 教育講演 渡利教授演者 第24回日本IVF学会学術集会	(琵琶湖ホテル)
	6	水 教室100周年第3回打合せ (web)	
	8	金 日産婦常務理事会 (web) 第23回日本骨粗鬆症学会/第39回日本骨代謝学会学術集会 (web) ～10日	
	13	水 日本人類遺伝学会第66回大会・第28回日本遺伝子診療学会大会 (合同ハイブリッド開催)	(横浜)
	14	木 第37回日本分娩研究会 (web)	
	15	金 第62回日本母性衛生学会総会・学術集会 (web) ～16日 第31回国際産科婦人科超音波学会 (ISUOG World Congress 2021) (web) ～17日	
	17	日 第98回北海道産科婦人科学会学術講演会主催 (ライフオート・web) ランチョンセミナー・招請講演 渡利教授座長	
	24	日 第37回日本東洋医学会北海道支部学術大会 (web)	
	29	金 第36回日本生殖免疫学会総会・学術集会～30日	(東京)
	30	土 WIND理事会 (web) 北海道母性衛生学会第1回理事会 (web) 第23回北海道出生前診断研究会 (web)	
11月	5	金 JGOG理事会 (web) /日産婦常務理事会 (web)	
	6	土 11月5日渡利教授御岳母様ご逝去、お通夜 (家族葬) 第36回日本女性医学学会学術集会 (ハイブリッド) ～7日	(大阪)
	11	木 第66回日本生殖医学会学術講演会・総会 (ハイブリッド) ～12日	(米子)
	13	土 第20回日本婦人科がん分子標的研究会～14日	(福岡大学病院)
	15	月 第3回北海道臨床細胞学会理事会 (web)	
	19	金 第275回広島県東部産婦人科医会学術講演会 渡利教授講演	(福山)
	20	土 第60回日本臨床細胞学会 秋期大会 (鳥取・ハイブリッド) ～21日 理事会 (web) /一般演題 (示説) 「子宮体部5」渡利教授座長 (web)	
	22	月 日本婦人科腫瘍学会理事会 (web)	
	23	火 第2回女性アスリート健康サポート北海道webセミナー (web)	
	25	木 ASGO2021 (バンコク・web) ～27日	
	26	金 ASGO2021 渡利教授座長 (web) 第29回日本胎盤学会学術集会ならびに第39回日本絨毛性疾患研究会 (web) 第31回日本乳癌検診学会学術総会 (京都・ハイブリッド) ～27日	
	27	土 日本性感染症学会第34回学術大会 (web)	(金沢)
	28	日 第41回北海道臨床細胞学会総会・学術集会 (web)	
	29	月 教室100周年第4回打合せ (web)	
12月	2	木 第34回日本内視鏡外科学会総会～4日 (ハイブリッド)	(神戸国際会議場・展示場/神戸ポートピアホテル)
	3	金 第20回JGOG総会・年次会議 (web) 日産婦第3回渉外委員会 (web)	
	4	土 第125回日本産科麻酔学会学術集会～5日	(名古屋)
	6	月 働き方改革のWIND説明会 (web)	
	7	火 ゼジューラ全国WEB講演会 渡利教授座長	
	10	金 日産婦第3回学術委員会	
	11	土 日産婦第3回理事会	
	17	金 第7回日本産科婦人科遺伝診療学会～18日	(大阪)
	18	土 北大産婦人科同門会忘年会 (web)	(札幌パークホテル)
	24	金 第41回日本妊娠高血圧学会学術集会	(奈良)

産婦人科臨床統計（外来患者総数 2020.1.1～2020.12.31）

外来患者数	24976
婦人科新規患者総数	856
（入院中新来含む）	
産科新規患者総数	407
（地域医療連携部経由:210）	*2014.6～紹介予約制に移行
婦人科再来総数	19459
専門外来患者総数	14524
腫瘍外来/腫瘍再来(婦人科新来再来含む)	4328
腫瘍・コルポ外来	1075
ST外来（土日祭日を含む）	4922
女性健康外来	2471
乳房外来	968
リンパ浮腫外来（リンパ浮腫新来を含む）	528
リンパ浮腫ケア外来	232
一般再来患者総数	4935
一般外来	3367
術前外来	523
新来再来	228
予約外-休日再診等	817
産科再来総数	4254
産科妊婦外来	1728
産科予備枠	223
午後外来	263
産科特殊健診外来(初期+後期)	614
産後・避妊外来	406
遺伝・出生前診断外来(初診・再診含む)	421
胎児心エコー外来	106
新生児1ヶ月健診	337
在宅診療	156

○病床稼働率(%)

診療月	産科(42床)	婦人科(38床)	NICU(9床)
令和2年1月	78.5	67.9	83.5
令和2年2月	74.4	87.4	98.8
令和2年3月	71.3	84.6	96.4
令和2年4月	70.6	77.1	93.7
令和2年5月	67.2	55.4	91.4
令和2年6月	64.0	76.2	87.8
令和2年7月	89.5	69.4	100.0
令和2年8月	70.6	76.9	95.7
令和2年9月	70.6	70.4	76.3
令和2年10月	71.3	82.3	88.5
令和2年11月	70.4	75.5	94.0
令和2年12月	60.1	77.9	95.0
累計	71.6	75.1	91.8

※産科病床には、MFICUならびにNICU以外の新生児病床を含む。

MFICU稼働前(平成24年7月まで)：産科 24床、一般新生児 3床、GCU 11床

MFICU稼働後(平成24年8月から)：産科 23床、一般新生児 4床、GCU 11床

※4-1 42床には共通病床4床を含む。

※婦人科病床（固有床は32床）には、他科入院患者を含む。

産科臨床統計 2020

産科臨床統計 I

(2020.01.01~2020.12.31)

○ 分娩	胎児数	母体数	胎児数	母体数
正常分娩 ※	148	148		
(※以下の異常を認めなかったものを正常分娩とした)				
異常分娩	234	(212)		
早産 (死産を除く)	11	(11)		
22週～27週	0	(1)		
28週～35週	5	(5)		
36週	6	(6)		
帝王切開 (適応別)	190	(168)	(適応は重複あり)	
常位胎盤早期剥離		(1)	分娩停止・回旋異常	(12)
早産		(57)	前置・低置胎盤	(7)
既往帝切		(60)	胎児疾患	(13)
骨盤位		(22)	骨盤内腫瘍	(23)
筋腫核出/腺筋症切除後		(5)	妊娠高血圧症候群 (PIH、HELLP症候群、妊娠高血圧腎症)	(43)
CPD(疑い)		()	TOLAC→不成功	(1)
多胎		(22)	社会的適応	(5)
母体合併症		(129)	子宮内感染	()
NRFS		(30)	TTTS	(4)
吸引分娩	5	(5)		
胎位異常 (死産を除く)	28	(25)		
骨盤位	22	(19)		
その他	6	(6)		
多胎 (死産を含む)			(死産を除く)	
双胎	44	(22)		37 (19)
MM		()	MM	()
MD	40	(20)	MD	36 (18)
DD	4	(2)	DD	1 (1)
TT	-			
DT	-			
品胎(TT品胎)	0	()		-
既往帝切 (死産を除く)				
帝切	60	(58)		
VBAC	0	()		
産科異常				
妊娠高血圧症候群 (PIH、妊娠高血圧腎症)		(32)	頸管裂傷	(1)
HELLP症候群		(1)	常位胎盤早期剥離	(2)
頸管縫縮術後		(17)	羊水過多	(13)
前置・低置胎盤		(11)	羊水過少	(11)
癒着胎盤		(6)		
死産	20	(17)	原因不明のIUFD	9 (9)
22週以上	5	(5)	MD双胎 不明	2 (1)
奇形	3		MD双胎 心不全	0 ()
			TT品胎 周産期感染	0 ()
12週～21週	12	(12)		
母体適応	5	(5)	自然流産 (IUFD含)	1 ()
胎児異常	11	(9)	染色体異常	3 (3)
計				382 360

(2020.01.01~2020.12.31)

○ 流産

母体数

自然流産		1
	12週未満(D&Cを要したもの)	1
	12週～21週	0
	22週～(IUFD)	0
人工流産	(人工妊娠中絶、人工流産)	12
	12週未満	1
	12週～21週	11
	母体疾患	5
	胎児異常	3
	染色体異常	3
	その他	0
計		13

(2020.01.01~2020.12.31)

○ IVF-ET(BT)妊娠

※ 12週未満の流産症例は含まない

		児数	母体数
単胎		31	31
	うち、ZIFT	0	0
双胎		2	1
	うち、ZIFT	0	0
	MM	0	0
	MD	2	1
	DD	0	0
	TT	0	0
	DT	0	0
品胎		0	0

産科臨床統計 II

(2020.01.01~2020.12.31)

○ 合併症妊娠・ハイリスク妊娠（以下のベ母体数、重複あり）

中枢神経系（含む脳血管疾患）	22 例
呼吸器疾患	6 例
消化器疾患	9 例
腎泌尿器疾患	6 例
血液疾患	13 例
心疾患	8 例
内分泌代謝疾患	30 例
精神疾患	20 例
自己免疫疾患	19 例
血液型不適合	0 例

(2020.01.01~2020.12.31)

○ 胎児異常分娩症例 (22週以降・重複あり)

13トリソミー	0
18トリソミー	3
21トリソミー	3
心奇形	39
TGA	2
DORV	5
心内膜床欠損	3
エブスタイン奇形	0
心室中隔欠損	12
ファロー四徴症	1
その他	16
臍動静脈瘻	0
脳梁欠損	1
脳室拡大	1
キアリ奇形	0
水腎症	4
尿道下裂	1
MCDK	0
胎児胸水	2
胎児腹水	1
食道閉鎖	1
横隔膜ヘルニア	0
臍帯ヘルニア	1
先天性CMV感染	0
胎児軟骨無形成症	0
児頭骨盤不均衡	0
胎児脊髄髄膜瘤	0

産科臨床統計 III

2020.1.1～2020.12.31

○ 染色体検査実施理由（来院時）	AC	CVS
高年妊娠		0
35～39	3	0
40～	1	0
胎児異常	6	1
胎児水腫/Cystic hygroma/NT肥厚	3	1
その他の異常	3	0
先天異常児妊娠既往	4	0
染色体異常	3	0
その他の異常	1	0
非確定的検査：ハイリスク	22	0
不安（35歳未満）	0	0
均衡転座保因者	0	0
遺伝子診断	0	0
脊髄小脳変性症Ⅰ型	1	0
計	36	2

○ 染色体検査結果		
正常核型	24	
46,XX		11
46,XY		13
46,XX/46,XX		
数的異常	12	
21trisomy		6
18trisomy		4
45.x		2
構造異常	0	
46.XY.rec(18)dup(18q)irv(18)	0	
正常変異	0	
モザイク	0	
結果未着	1	
計	37	

産科臨床統計 IV

(2020.1.1～|2020.12.31)

○ 臍帯穿刺	0
--------	---

○ 胎児穿刺	
--------	--

胎児胸腔穿刺	2
--------	---

胎児腹腔穿刺	0
--------	---

胎児膀胱穿刺	0
--------	---

胎児心嚢液穿刺	0
---------	---

○ 胎児治療	(のべ母体数)
--------	---------

羊水減圧	4
------	---

羊水注入	0
------	---

胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術	1
-------------------	---

胎児胸腔・羊水腔シャント術	1
---------------	---

経母体的免疫グロブリン	0
-------------	---

経母体 β -stimulant投与（胎児徐脈）	0
--------------------------------	---

計	6
---	---

TOLAC	VBAC成功	VBAC不成功
-------	--------	---------

0	0
---	---

産科臨床統計 V

(2020.1.1～2020.12.31)

○ 遺伝カウンセリング

症例数

出生前染色体検査に関するもの	297	
高齢妊娠		203
不安（35歳未満）		31
NT肥厚		37
胎児異常		8
染色体異常児妊娠既往		13
染色体転座保因者		0
非確定的検査:ハイリスク		3
前児胎児異常		2
遺伝子疾患に関するもの	3	
Mitheil-Rily症候群		
筋強直性ジストロフィー		
脊髄小脳変性症Ⅰ型		1
表皮水泡症		1
DMD		1
脊椎肋骨異型性症		
Leigh脳症		
流死産絨毛の遺伝学的検査		0
染色体異常疑い		
多発性嚢胞腎		
計	300	

○ 出生前染色体検査：非確定検査

血清マーカー	20
First trimester screening	110
NIPT	132
検査数の合計	262

Gynecologic Cancer

Annual Report 2020-2021

(婦人科悪性腫瘍治療年報)

北海道大学病院 婦人科
北海道大学 大学院医学研究科 産婦人科学分野

2020 から 2021 にかけての北大病院における婦人科悪性腫瘍の診療に関する動向

分子標的薬

2020 年より、新規の経口 PARP 阻害剤ゼジューラ®の使用が開始され 1 年が経過した。バイオマーカーで限定されず、卵巢癌患者における初回及び再発の維持療法として、効果が期待されている。コンパニオン検査である myChoice 診断システムも広く実用化されつつあり、化学療法後の維持療法としてアバスチンやオラパリブとどう使い分けていくかが今後の課題と考えられる。

低侵襲外科手術

前年度に引き続き、適格者に対して子宮体癌 3 例と子宮頸癌 1 例に対して腹腔鏡とダヴィンチシステムによるロボット支援下低侵襲手術を実施した。

2021 年 12 月現在、登録中および開始予定の主な臨床試験と治験

	疾患	略称		デザイン
1	頸癌	ENGOT-cx11 (MK-3475-A18)	局所進行子宮頸癌を対象に、ペンブ ロリズマブと CCRT の併用療法お よび CCRT 単独療法とを比較する 二重盲検、無作為化、第 III 相試験	Phase III 多施設国際共 同企業治験： MSD
2	頸癌	JGOG1082 (AFTER 試験)	術後再発高リスク因子を有する子宮 頸癌 I B- II B 期根治手術例におけ る術後放射線治療と術後化学療法 (TC or TP) のランダム化比較試験	Phase III
3	頸癌	tisotumab vedtin	再発子宮頸癌を対象に tisotumab vedtin と治験担当医師が選択した 化学療法を比較する無作為化、非盲 検試験	Phase III
4	体癌	JCOG1412 (SEPAL-P3)	リンパ節転移リスクを有する子宮体 癌に対する傍大動脈リンパ節郭清の 治療的意義に関するランダム化第 III 相試験	Phase III

5	体癌	KEYNOTE-B21 (MK3475)	根治手術後の初発高リスク子宮体癌を対象とした術後化学療法+MK3475 と術後化学療法+プラセボを比較する無作為化・二重盲検試験	Phase III
6	体癌	FELICIA Trial	子宮内膜異型増殖症・子宮体癌に対するメドロキシプロゲステロンとメトホルミンの併用妊孕性温存療法の容量反応性試験	Phase III
7	卵巣癌	JGOG3020	ステージング手術が行われた上皮性卵巣癌Ⅰ期における補助化学療法の必要性に関する無作為化比較試験 経過観察 VS 化学療法(TC or DC)	Phase III
8	卵巣癌	OVAL 試験	プラチナ製剤抵抗性の再発卵巣癌を対象とした VB-111+PTX 群とプラセボ+PTX 群の多施設共同無作為化二重盲検比較試験	Phase III 多施設国際共同企業治験
9	卵巣癌	NRG-GY005 (COCOS)	再発プラチナ抵抗性又は不応性卵巣癌、卵管癌又は原発性腹膜癌女性患者を対象にセジラニブとオラパリブの併用を、セジラニブ単剤又はオラパリブ単剤又は標準的な化学療法を比較するランダム化第Ⅱ/Ⅲ相試験	Phase II /Ⅲ 企業治験： NRG oncology
10	卵巣癌	JCOG1203	上皮性卵巣癌の妊孕性温存治療の対象拡大のための非ランダム化検証的試験	Phase III
11	臓器横断的	JGOG2052	HRD 陽性再発・難治性婦人科希少癌に対するニラパリブ単群・非盲検第Ⅱ相試験	Phase II

教 育

日本婦人科腫瘍学会腫瘍専門医を目指し、現在 2 名が修練中である。

医学部生の教育では 5 年生のコア科臨床実習を受け入れており、4 週間の長期実習期間中、病棟実習（カンファレンス、回診、診療録記載、処置見学）、手術実習を行っている。産婦人科への重要なリクルートの場ととらえ、濃厚で有意義な実習となるよう医局員一同積極的に学生と関わっている。ただ、今年度前期はコロナウイルス感染症対策として、院内での実習が完全に中止を余儀なくされた。代替策として試行錯誤のなかオンライン実習を企画し、ドラマ「コウノドリ」DVD を用いたディスカッションや、臨床推論型の国家試験対策講義、腹腔鏡キットを貸し出している自宅オンライントレーニングなど趣向を凝らした実習が行われ、どの実習も学生からは大変好評であった。後期からは、密を回避するよう工夫しながら、院内での実習を再開している。

婦人科病棟医長 遠藤大介

北海道大学病院 婦人科病棟

腫瘍グループ

2020年（1月～12月）臨床統計

総入院数 1025（前年
1084）

総手術数 353（前年 350）

腫瘍性疾患の主な手術件数(新規治療)

浸潤子宮頸癌、子宮頸部異形成

開腹 リンパ節郭清を伴う	9
腹腔鏡 リンパ節郭清を伴わない	7
腹腔鏡 リンパ節郭清を伴う	0
ロボット支援trachelectomy	0
ロボット支援広汎子宮全摘出術	1
子宮頸部切除術	33

子宮体癌

開腹 リンパ節郭清を伴わない	11
開腹 リンパ節郭清を伴う	21
腹腔鏡 リンパ節郭清を伴わない	18
腹腔鏡 リンパ節郭清を伴う	2
ロボット支援下子宮全摘術	3

卵巣卵管腹膜癌、境界悪性腫瘍

開腹 リンパ節郭清を伴わない	20
開腹 リンパ節郭清を伴う	12

外陰癌

1

陰癌

2

絨毛性疾患

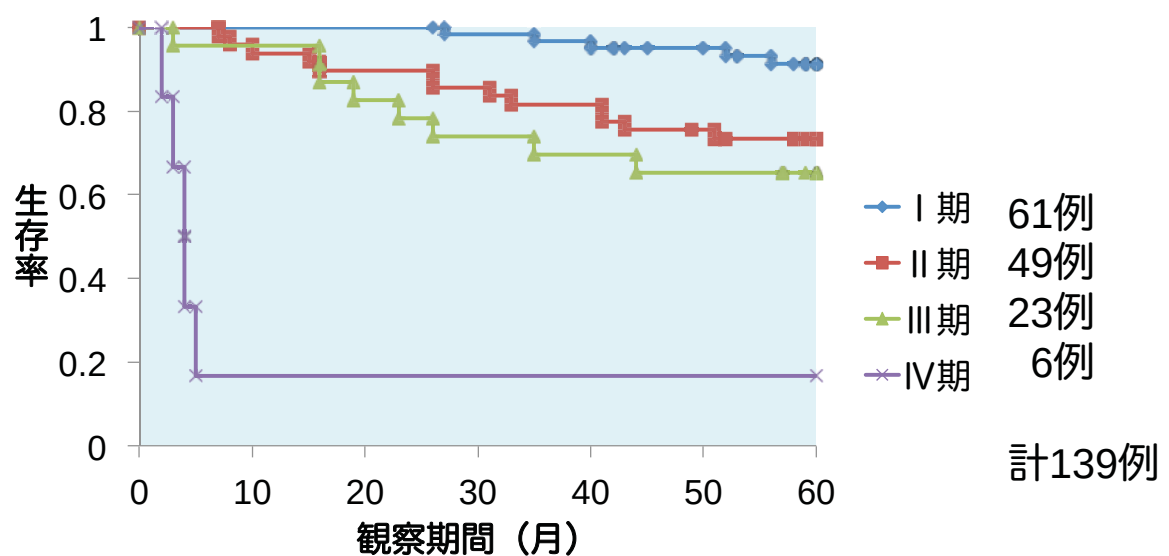
胎状奇胎除去術	2
子宮全摘出術	0

良性疾患の主な手術件数

子宮筋腫核出術	腹腔鏡下および補助下	5
	開腹	1
子宮全摘出術	腹腔鏡下および補助下	21
	開腹	17
子宮附属器腫瘍摘出術	腹腔鏡	28
	開腹	12
子宮鏡手術	単独	8
その他		69

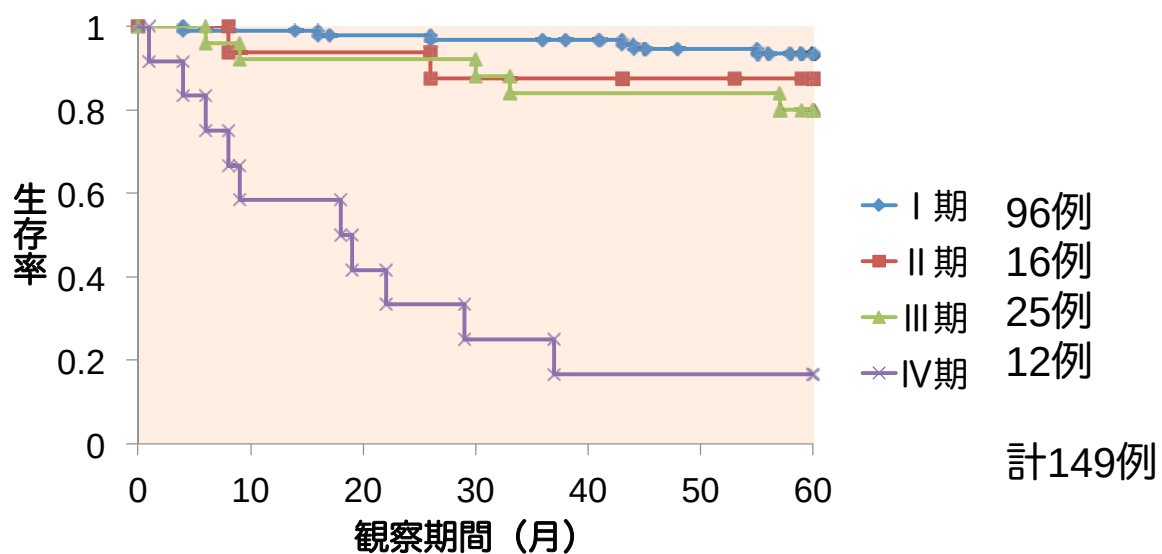
子宮頸癌

2012-2016治療開始患者の5年生存率



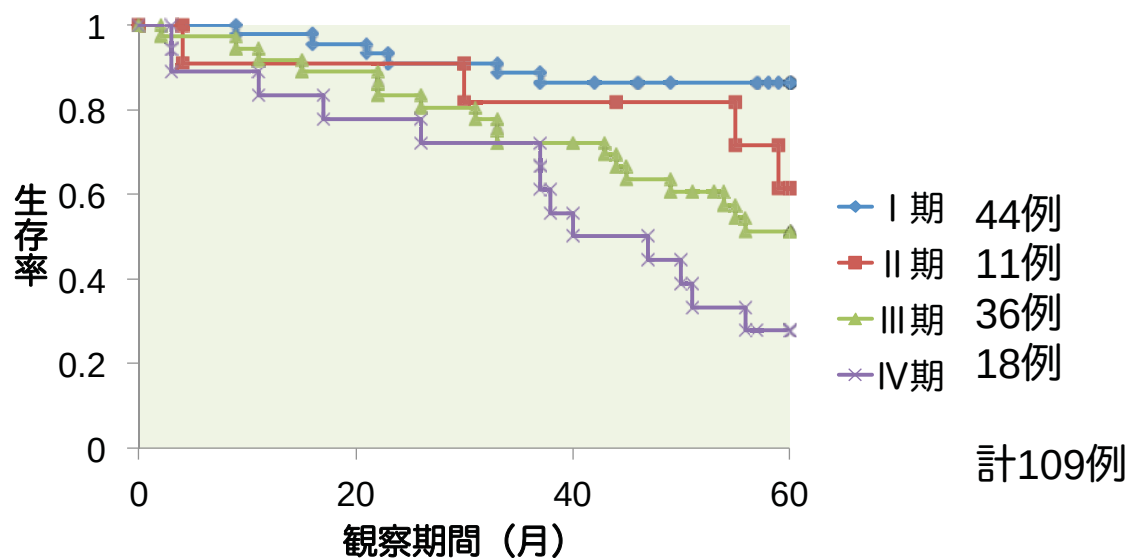
子宮体癌

2012-2016治療開始患者の5年生存率



卵巣癌

2012-2016治療開始患者の5年生存率

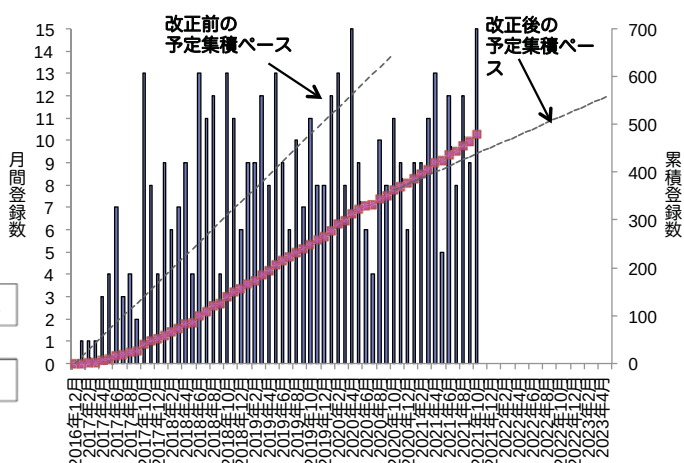
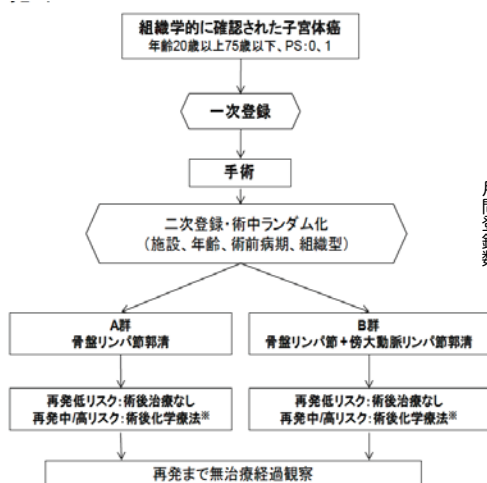


進行中・開始予定の治験&臨床試験

対象疾患	試験群 vs 対象群
子宮頸癌IB-IIB 広汎子宮全摘後 再発高リスク 進行性子宮頸癌	JGOG1082 After試験 化学療法 (TCorTP) VS CCRT CCRT+ペムブロリズマブ VS CCRT
再発子宮頸癌	ティソツマブ VS 非プラチナ化学療法
子宮体癌術前IB-IIIc1	JCOG1412 骨盤リンパ節郭清群VS骨盤+傍大動脈リンパ節郭清群
術後再発高リスク子宮体癌 子宮体癌/子宮内膜異型増殖症に 対する妊娠性温存治療後の子宮内 再発	TC+ペムブロリズマブ VS TC JGOG2051 MPA単群・非盲検第Ⅱ相試験
妊娠性温存手術予定のIA期卵巣癌 疑い	卵巣IA 期明細胞腺癌および IC 期非明細胞腺癌の高・ 中分化型に対する妊娠性温存治療の 有用性を検証
ステージング手術が行われた上皮 性卵巣癌Ⅰ期 プラチナ抵抗性・不応性卵巣癌	JGOG3020 経過観察 VS 化学療法 (TCorDC) 非プラチナ標準化学療法 VS セジラニブ+オラパリブ VS セジラニブ単剤
プラチナ抵抗性・不応性卵巣癌	VB-111+weekly PTX VS weekly PTX VB-111:アデノウィルス製剤
HRD陽性再発・難治性婦人科希少癌	JGOG2052 ニラパリブ単群・非盲検第Ⅱ相試験

試験の概要：JCOG1412

- 「リンパ節転移リスクを有する子宮体癌に対する傍大動脈リンパ節郭清の治療的意義に関するランダム化第Ⅲ相試験」



見通しなど

- 登録数変更改正後の予定登録ペースを若干上回っている
- 全国48施設が参加
- 2023年5月登録終了予定 現在497例 残り63例 (12/16時点)

周産母子センター新生児統計

(2020.1.1 ~ 2020.12.31)

○ 出生体重区分別の新生児数(院外出生15例を含む)

出生体重区分	新生児数(院外)	(死亡数)
~1,000g	11(0)	(1)
1,000~1,500g	8(1)	(2)
1,500~2,000g	13(0)	(0)
2,000~2,500g	71(1)	(1)
2,500~4,000g	261(2)	(1)
4,000g~	4(0)	(0)
計	368(4)	(5)

○ Apgar Score 区分別の新生児数(院内出生)

Apgar Score (1 分)	新生児数	(死亡数)
0 ~ 3	8	(2)
4 ~ 6	15	(1)
7 ~10	340	(0)
計	363	(3)

- 1- 27週0日、265g、母体のため死産
- 2- 34週2日、1300g、18トリソミー疑い、心奇形疑い(CECD,CoA)
- 3- 33週3日、1255g、DD双胎第2子、18トリソミー
- 4- 36週5日、新生児死亡
- 5- 週数不明、未受診妊婦、母体搬送、死産

○ 新生児外来数(産科) 337

○ 新生児外来数(小児科) 1038

外来患者数（人） 6010

手術数（件）	腹腔鏡	78	癒着剥離術	25
			LUNA	20
	子宮鏡	26	付属器手術	17
			LM	16
	その他	8	TLH	13
			ALFIX	4
			その他	13

（重複あり）

ART関連

採卵周期数 108（IVF 93 ICSI 15）

移植周期数 48（すべて凍結融解胚を用いた胚移植）

臨床的妊娠数	12（妊娠率	12/48⇒25.0%
分娩数	9（生産率	9/48⇒18.8%
	（患者あたり	9/32⇒28.1%

WIND関連施設臨床統計 2020

病院名	北海道大学病院 馬場武、遠藤大介 工藤正幸	手稲溪仁会病院 和田 真一郎	天使病院 藤枝 孝子	市立札幌病院 平山 寛美	JCHO北海道病院 山田 俊	札幌厚生病院 香城 恒盛	北海道 がんセンター 見延 進一郎	KKR 札幌医療センター 涌井之雄、西信也	勤医協札幌病院 西岡 利泰	千歳市民病院 越田 高行	富良野協会病院 堀 保彦	創路赤十字病院 東 正樹	函館中央病院 片岡 留門
記載者	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数
外来患者数	1,263	1,778	541	9,461	458	953	713	570	1,333	1,333	763	3,500	1,825
新来	23,713	20,909	13,551	15,586	8,200	11,376	15,803	9,617	10,132	10,132	5,735	25,000	12,762
再来/新来 (平均: 倍)	18.8	11.8	25.0	1.6	17.9	11.9	22.2	16.9	7.6	7.6	7.5	7.1	7.0
産科臨床統計	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数
流産	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
11週	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
12週~21週	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
分娩	367	345	654	712	506	488	395	391	455	455	140	1,046	583
正常分娩	159	159	337	369	245	244	217	217	271	271	102	770	324
異常分娩	208	186	317	343	261	244	178	174	184	184	38	276	259
経産分娩	17	17	32	62	67	67	74	74	72	72	15	85	64
吸引分娩	5	5	32	62	27	3	42	42	47	47	15	23	15
骨盤位経産分娩				10		0							3
双胎		2		17	1							1	5
無痛分娩				30									
VBAC				29									
早産	11	23		30	44	1		10	17	14	4	60	30
帝王切開	191	169	285	341	194	24	104	100	97	114	23	191	194
帝王切開後	58	63	74	104	52	6	34	34	28	55	12	54	51
子宮手術後	5	30	4	8	4	1	4	4	2	1		2	9
胎児機能不全	30	28	32	29	31	3	7	7	17	10	3	15	35
分娩停止	16	7	37	55	16	6	6	6	13	13	4	22	16
胎位異常	19	11	61	33	26	1	15	15	13	19	3	25	14
多胎	20	13	26	44	17		4	4		2		14	12
その他	66	32	10	30	63	7	33	33	18		1	49	55
早産	62	51	100	185	98	1	22	22	17	14	0	63	81
22週~27週	7	3	3	24	51		10	10	4	5		7	2
28週~35週	27	45	44	85	51		12	12	13	9		29	57
36週	28	17	53	76	43	1			0	2		27	38
多胎	21	15	26	59	18	0		4	0		0	16	17
双胎	21	15	26	59	18	0		4	0		0	16	16
(NM)				2									1
(MD)		3	4	23	4							3	4
(DD)		12	22	34	14			4		2		13	11
品胎													3
その他													1
産科合併症	220	264	449	462	157	32	91	68		33	21	235	473
HDP	32	47	60	49	29	4	13	11		8	3	27	55
HELLP	1	5		3	1							1	
子癇				1								6	
DM	49	50	43	68	96	13	55	23		10	3	154	48
GDM				16	3							6	5
overt DM	3	7	5	5	5							1	2
胎盤異常前重胎盤	4	8	3	12	4							4	5
胎盤異常前重胎盤	4	1	12	3	1							1	1
部分・辺縁前置胎盤	1	14	2	3	20							8	5
前置胎盤	1	6	6	11	5					3		1	5
常位胎盤早期剝離	2	39	22	44	13					2	3	4	31
FGR	84	17	4	4	5					10	1	17	16
先天性胎児異常	5	48	46	22	6	15	2	40	10	42	1	11	106
胎盤出血	1	5	2							5	1	9	10
人口流	11	1											47
12週未満													2
12週以降													
母体搬送	36	58	36	94	90		9	1		8		13	
(救急車による搬送)搬入	14	9	3		5								
新生児 母体出生体重	97	91	107	207	118	0	31	30	24	13	9	109	100
1500~2499g	82	76	115	157	108		31	30	24	13	9	99	103
1000~1499g	5	5	5	24	9							3	5
-999g	10	10	7	24	1							7	5

婦人科臨床統計		北海道大学病院	手稲区仁金病院	天使病院	市立札幌病院	UHO北海道病院	札幌厚生病院	北海道がんセンター	KRR札幌医療センター	勤医協札幌病院	千歳市民病院	富良野協合病院	創設赤十字病院	函館中央病院
		症例数	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数	症例数
浸潤癌		118	82	0	34	0	88	191	32	5	3	0	73	21
子宮頸癌		31	18		7		11	57	8	1			22	2
子宮体癌		53	32		16		32	89	10	4			26	9
卵巣癌		25	28		10		34	30	13		1		23	10
その他の癌(悪性腫瘍)		9	4	0	1	0	11	15	1	0	2	0	2	0
子宮肉腫		1	3				3	2	1				1	
陰嚕癌		4	1		1		8	8			2		1	
外陰癌		3						1					1	
陰嚕癌		1						4	1	1			9	4
子宮境界悪性腫瘍		3	16		2		6	9	1				1	
原発不明癌					2			1	1				0	2
絨毛性疾患		3	2	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	2
胎状奇胎		1	2											2
侵入奇胎		1												
絨毛癌		1												
手術		450	1,143	26	299	1	1		1	126	84	4	434	290
子宮頸部悪性腫瘍手術		7	10		2		2	36	2	1			15	2
(うち腹腔鏡、ロボット手術)		1	7					17					1	
子宮体部悪性腫瘍手術		59	38		18		16	93	9	4			27	9
(うち腹腔鏡、ロボット手術)		23	10		9		5	57	4				13	
子宮付属器悪性腫瘍手術		30	46		22		27	50	15	1			24	10
(腹直筋をきむ)														
外陰、陰嚕根治手術		3						1						
子宮GIN手術		39	97	1	53	3	57	166	46	12	19	0	58	32
円錐切除		33	52	1	34	3	27	93	34	9	14		20	20
レーザー凝固			14		12		27	44					55	8
子宮全摘		6	31		7		3	29	12	3	5		3	4
良性子宮腫瘍手術		109	611	4	97	20	70	15	122	40	40	1	141	76
子宮全開腹手術		17	14	2	16	5	37	8	24	10	16		14	7
腹腔鏡手術		13	386		32	12	15	3	40	2			91	38
ロボット手術		24						3						
腔式手術			4		5		1			19	20			
筋腫剝離手術		2	1		7		8	1	4	6			3	
腹腔鏡手術		44	177	1	15	1	6		38	1			23	12
腔式手術		1	1		4		1		1		3	1	3	
子宮鏡		8	24	1	18	1	3		15	2	1		7	19
良性子宮付属器腫瘍(子宮い)手術		34	156	12	42	9	37	21	71	21	13	2	45	44
腹腔鏡手術		21	145	10	36	7	13	15	56	12			41	44
開腹手術		13	11	2	6	2	24	6	9	9	13	2	4	
子宮内腫瘍		59	96	0	22	1	20	2	13	2	2	0	18	26
腹腔鏡手術		59	95		17	1	8		13	2			17	26
開腹手術			1		5		12				2		1	
骨盤臓器脱手術			15	1	21		6	1	13	16	10		50	10
子宮成形、造陰手術		1							1					
その他		109	74	8	22	1		25	22	29		1	56	81

生殖医療統計		ART	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数
採卵数	(IVF)	108	53	106	75	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(その他: IVF+GSI)	(ICSI)	93	44	4	3									
胚移植	(GSI)	15	9	70	40									
新鮮胚		48	32	163	95	0	0	0	0	0	0	0	0	0
凍結胚		48	32	146	86									
妊娠		12	12	57	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0
分娩		12	12	56	49									
新鮮胚		9	9	36	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0
凍結胚		9	9	36	36									
その他、特色ある医療:				41	※別記									
※ その他、特色ある医療: 手稲区仁金病院: 胎子分娩15件、胎外胎生(胎外胎)出血の母体搬送20件、胎														

WIND関連施設臨床統計 2020

病院名	帯広厚生病院	旭川厚生病院	苫小牧市立病院	砂川市立病院	王子総合病院	町立中標津病院	俱知安厚生病院	八雲総合病院	江別市立病院	網走厚生病院	小樽市立病院	合 計
記載者	松宮 寛子	光部 素六郎	藤本 俊郎	山下 陽一郎	勘野 真紀	笠原 玲奈	早川 和彦	白銀 澄	中郷 賢二郎	鈴木 真博	青山 聖美	
外来患者数	患者数 1,508 29,763 再来/新来 (平均:倍) 19.7	患者数 1,215 17,974 14.8	患者数 1,408 12,428 8.8	患者数 1,315 12,194 9.3	患者数 1,242 12,748 10.3	患者数 875 9,077 10.4	患者数 1,060 3,789 3.6	患者数 508 4,052 8.0	患者数 811 9,464 11.7	患者数 1,053 6,544 6.2	患者数 866 5,019 5.8	患者数 35,019 295,436 8.4
産科臨床統計	症例数 胎児数 母体数 28 28 24 4	症例数 胎児数 母体数 3 3 2 2	症例数 胎児数 母体数 35 35 12 12	症例数 胎児数 母体数 1 1 1 1	症例数 胎児数 母体数 12 12 2 2	症例数 胎児数 母体数 5 5 5 5	症例数 胎児数 母体数 15 15 14 14	症例数 胎児数 母体数 14 14 14 14	症例数 胎児数 母体数 4 4 4 4	症例数 胎児数 母体数 16 16 15 15	症例数 胎児数 母体数 1 1 1 1	症例数 胎児数 母体数 404 404 357 357
流産	1,002 763 239 33 16	690 241 423 240 22	655 423 428 240 22	448 350 98 4 4	342 260 82 25 13	188 161 27 2 10	177 124 53 8 10	112 92 20 5 3	521 440 81 19 0	287 220 67 16 1	0 0 0 1 1	10,279 6,361 3,886 935 444
分娩	正常分娩 異常分娩 経産分娩 吸引分娩 骨盤位経産分娩 双胎 無痛分娩 VBAC 早産	669 241 428 240 22 2 6 1 4	669 241 428 240 22 2 6 1 4	448 350 98 4 4	342 260 82 25 13	188 161 27 2 10	177 124 53 8 10	112 92 20 5 3	521 440 81 19 0	287 220 67 16 1	0 0 0 1 1	10,037 6,361 3,676 935 444
帝王切開	206	209	203	102	57	25	45	15	88	52		2,957
帝王切開 既往帝王切開 子宮手術後 胎児機能不全 分娩停止 胎位異常 多胎 その他	77 8 19 16 31 6 35	77 3 16 14 18 19 42	77 3 16 14 18 19 42	33 3 13 10 4	22 2 2 8 4	14 2 1 5	20 8 9 7	11 1 1 1	9 4 5 0 42	28 2 7 9 1		2,743 108 323 308 345 203 509
早産	64 7 27 30 6 6	66 3 44 19 28 26	69 7 34 28 21 21	26 13 13 2 2	12 4 8 0 0	3 1 2 0 0	3 1 2 0 0	2 2 0 0	10 1 9 7	20 13 7 7 1	0 0 0 0	980 60 499 421 242 240 4 81 155 2 0
多胎	6 6	27 26	27 26	2 2	0 0	0 0	0 0	0 0	7 7	1 1	0 0	240 4 81 155 2 0
双胎	2 4	11 14	5 16	2 2					1 6			4 81 155 2 0
品胎	3	3	1							1		6 0
その他												3,151 452 13 10 806 58 33 52 39 73 270 562 197 88 452 90
産科合併症	101 34 1 2 16 2 7 2 3 1 2 7 11 4	146 26 39 5 2 5 1 20 11 100 24 4	146 26 39 5 2 5 1 20 11 100 24 4	62 8 1 38 2 2 1 1 9 1 1 8	121 11 30 3 1 76 5	13 4 2 2 1 7 8	9 2 2 1 1 4 14 1	16 2 2 1 2 8 12 3	58 2 32 6 3 2 2 4 5 18 3	40 10 15 1 1 3 3 10 2 2		3,151 452 13 10 806 58 33 52 39 73 270 562 197 88 452 90
HDP	34	26	15	8	11	4	2	2	1	13		499
HELLP	1			1			2	2	9	7		421
子癇	2								7	1	0	242
DM	16	39	18	38	30	2	2	2	7	1	0	240
GDM	2	5	2	2								4
over DM	2	2	2	2								81
胎盤異常前重胎盤	7	2	2	1								155
部分・辺縁前重胎盤	2	2	3	1								2
癒着胎盤	2	2	5	1	1							0
低置胎盤	3	5	2	1								4
常位胎盤早期剝離	3	1	1	1								81
FGR	7	20	14	9								155
先天性胎児異常	11	5	8	1								2
死産出血	9	100	9	1	76	7	4	8	5	10		3,151
人口流	24		2					12	18			452
12週未満	4		8					12	3			13
12週以降	10	32	24						10			10
母体搬送	4		5	6	5	8	7	1	10	2		806
(救急車による搬送)搬入												58
新生児 母出生体重	84 68 3	81 67 10	81 70 6	35 34 1	17 17 1	5 4 1	4 4 1	3 3 3	0 27 27	18 17 18	0 0 78	1,050 926 54
1500~2499g												74
1000~1499g												54
<999g	13	4	5									70

婦人科臨床統計		帝広厚生病院		旭川厚生病院		苫小牧市立病院		砂川市立病院		王子総合病院		町立中標津病院		俱知安厚生病院		八雲総合病院		江別市立病院		網走厚生病院		小樽市立病院		合 計		
		症例数	患者数	症例数	患者数	症例数	患者数	症例数	患者数	症例数	患者数	症例数	患者数	症例数	患者数	症例数	患者数	症例数	患者数	症例数	患者数	症例数	患者数	症例数	患者数	
浸潤癌		84	61			21		55		56		0		0		3		12		3		32		974		
子宮頸癌		18	22	6	8	32	13	9	25	13	2							3		7		7		258		
子宮体癌		33	22	8	6	8	14			25								7		2		16		395		
卵巣癌		26	12					8		14								1		1		8		252		
その他の癌（悪性腫瘍）		7	5	1		6		6		4		0		0		0		0		0		1		69		
子宮肉腫		2	4			2		2		2														21		
陰嚕癌		5						2		1														34		
外陰癌								2																7		
卵巢境界悪性腫瘍																								7		
原発不明癌			2			2		0		2		0		0		0		1		1		1		20		
絨毛性疾患		2				1				2								1				1		14		
胎状奇胎																								1		
侵入奇胎																								5		
縦毛癌																								5		
手術		378	425			101		160		272		18		9		29		89		58		182		5,570		
子宮頸部悪性腫瘍手術 （うち根治術、ロボット手術）		4	9	1		1		1		3												3		98		
子宮体部悪性腫瘍手術 （うち根治術、ロボット手術）		2	20	7		7		5		18								1		2		1		31		
子宮付属悪性腫瘍手術 （卵巣癌を含む）		17	14							5								1		0		5		163		
外陰、陰嚕切開手術		24	22	6				2		8						1				1		12		301		
子宮GIN手術		63	78			14		38		27		6		7		1		12		12		13		5		
円錐切除		44	67			13		26		24		5		7		1		8		9		9		588		
レーザー蒸散																						1		109		
子宮全摘		19	11	1				12		3		1						4		3		3		157		
良性子宮腫瘍手術		113	155	42		10		64		90		1		1		8		30		15		54		1,919		
子宮全開腹手術		17	37					8		25								5		9		14		295		
腹腔鏡手術		11	65	22		22		48		25						7		10		3		26		849		
ロボット手術		45	19							27														122		
腔式手術		5		2														5						61		
筋層切開腹手術		4		2		4		6		9		1						1		3		1		43		
腹腔鏡手術		18														1		4				3		393		
腔式手術			2											1				2						20		
子宮鏡		13		2				2		2								3				10		136		
良性子宮付属器腫瘍 （子宮ミョコレート腫瘍を含む）		57	52	21		21		44		54		1		0		3		20		13		30		802		
腹腔鏡手術		47	48			14		34		41						2		6		4		25		621		
開腹手術		10	4	7		7		10		13		1				1		14		9		5		181		
子宮内腫瘍																								5		
腹腔鏡手術		18	8	3		3		6		14		0		0		3		2		1		10		326		
開腹手術										14						3		2				9		304		
骨盤臓器脱手術																					1		1		22	
子宮奇形、造脛手術			33	4		4				28		4						6		8		20		265		
その他		48	48	3		3				29		6		1		13		18		5		18		3		
																								617		
																								16		
生殖医療統計		ART		ART		ART		ART		ART		ART		ART		ART		ART		ART		ART		ART		
採卵数	(IVF) (ICSI)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	256	156	
(その他：IVF+ICSI)																								112	59	
胚移植																								97	55	
新鮮胚凍結胚		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	47	42	
妊娠																								249	153	
新鮮胚凍結胚		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	10	143	
妊娠																								88	78	
新鮮胚凍結胚		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	
分娩																								87	77	
分娩		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	54	54	
その他、特色ある医療：																								50	54	
																								8	8	

学会・研究会発表（筆頭演者分のみ）

（2020年11月～2021年10月）

（＊過年度未掲載分）

特別講演 一

シンポジウム等 般

第48回北日本産科婦人科学会＊	2014年9月1-2日	（岩手）	1	
第43回日本産婦人科手術学会	2020年11月9-23日	（札幌, WEB）	1	
HPV prevention and Control Board Symposium: Impact of COVID-19 on Cervical Cancer Screening, Treatment and Vaccination	11月12-13日	（Antwerp）	2	
日本人類遺伝学会第65回大会	11月18-12月2日	（名古屋, WEB）	2	
Asia-Pacific Economic Cooperation （APEC）Life Sciences Innovation Forum and Health Working Group Policy Dialogue on Cervical Cancer	11月20-24日	（Kuala Lumpur）	1	
第59回日本臨床細胞学会秋期大会	11月21-22日	（横浜, ハイブリッド）	1	
第35回日本女性医学学会学術集会	11月21-22日	（東京, ハイブリッド）	1	
International Symposium: COVID- 19 in Japan and Bangladesh	11月24日	（奈良）	1	
第65回日本生殖医学会学術講演会	12月3-4日	（東京, WEB）	1	
ESGO 2020 VIRTUAL MEETING	12月14-16日	（WEB）	1	
第60回日本産科婦人科内視鏡学会学術 講演会	12月14-1月5日	（神戸, WEB）	4	1
第30回日本産婦人科・新生児血液学会	12月24-25日	（福岡, WEB）	1	1
第62回日本婦人科腫瘍学会講演会	2021年1月29-2月11日	（仙台, WEB）	2	14
第17回日本婦人科がん会議	2月5-6日	（静岡, WEB）	2	
第11回日本がん・生殖医療学会学術集 会	2月12-25日	（札幌, WEB）	1	
第29回日本婦人科がん検診学会総会・ 学術集会	2月20-21日	（新潟, WEB）	1	
第33回北海道骨粗鬆症研究会学術集会	2月27日	（札幌, WEB）	1	
International Symposium: The Societal Impact of COVID-19 in Japan and Indonesia	2月24日	（奈良）	1	
第9回日本婦人科ロボット手術学会	3月5-20日	（島根, WEB）	2	
第33回日本内視鏡外科学会総会	3月10-13日	（横浜, ハイブリッド）	1	2
第27回日本産婦人科乳腺医学会	3月13-14日	（札幌, WEB）	2	
第41回日本肥満学会	3月19-21日	（富山, WEB）	1	
第73回日本産科婦人科学会学術講演会	4月22-25日	（新潟, ハイブリッド）	1	27
第124回日本小児科学会	4月16-18日	（京都, ハイブリッド）	1	
第65回日本新生児成育医学会学術集会	5月7-9日	（札幌, WEB）	1	
第25回日本がん分子標的治療学会学術 集会	5月26-28日	（東京, WEB）	1	
The 22nd World Congress of Psycho-Oncology	5月26-29日	（京都）	1	

学会・研究会発表（筆頭演者分のみ）

（2020年11月～2021年10月）

（＊過年度未掲載分）

特別講演 一

シンポジウム等 般

第27回日本遺伝性腫瘍学会学術講演会	6月18-19日	(埼玉, WEB)	1
The 4th Biennial Meeting of Asian Society of Gynecologic Oncology	7月1-5日	(Hyderabad)	1
第18回北海道周産期談話会	7月3日	(札幌)	11
第39回北海道思春期研究会	7月4日	(札幌, WEB)	2
第57回日本周産期・新生児学会	7月11-13日	(宮崎, ハイブリッド)	1 10
第63回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	7月16-18日	(大阪, ハイブリッド)	1 20
HPV prevention and Control Board Symposium: Reinforcing Access to HPV Vaccination and Cervical Cancer Screening and Treatment	8月15-16日	(Antwerp)	1
第68回北日本産科婦人科学会総会・学術講演会	8月28-29日	(新潟, WEB)	1 7
JSAWI第22回シンポジウム	9月3-4日	(淡路, WEB)	1
第10回国際リンパ浮腫フレームワーク・ジャパン研究協議会学術集会	9月4日	(鴨川, WEB)	1
第61回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	9月11-13日	(横浜, WEB)	1 8
第44回日本産婦人科手術学会	9月25-10月8日	(鹿児島, WEB)	1 2
第47回日本産婦人科医会学術集会	10月2-3日	(札幌, ハイブリッド)	2
第21回北海道産婦人科低侵襲手術研究会	10月16日	(札幌)	4
第98回北海道産科婦人科学会学術講演会	10月17日	(札幌, WEB)	14
The 22nd European Congress on Gynaecological Oncology (ESGO 2021)	10月23-25日	(Prague, WEB)	3
第37回日本東洋医学会北海道支部学術大会	10月24日	(札幌, WEB)	1
第23回北海道出生前診断研究会	10月30日	(札幌, WEB)	1

計 28 148

令和2年 9 88

元年 28 172

平成30年 28 178

29年 23 180

国内学会・研究会

(2020 年 11 月～2021 年 10 月)

(※：過年度未掲載分)

第 48 回北日本産科婦人科学会 2014 年 9 月 1-2 日 (岩手) *
深澤けい子 「視診・問診により、ヘルペスⅠ型Ⅱ型予測は可能か？」

第 43 回日本産婦人科手術学会 11 月 9-23 日 (札幌, WEB 配信)
黒須博之 (ハンズオンセミナー)「腹腔鏡ハンズオン—やればできる！縫合結紮！」

日本人類遺伝学会第 65 回大会 11 月 18-12 月 2 日 (名古屋, WEB 配信)
恩田哲雄 「2 型コラーゲン異常症のご家族との胎児期から退院に向けての話し合いの過程」
和田真一郎 「13trisomy の児を分娩後の妊娠中の羊水染色体分析で 47, XXY と判明したが、妊娠継続し分娩に至った高年妊娠の 1 症例」

第 59 回日本臨床細胞学会秋期大会 11 月 21-22 日 (横浜, ハイブリッド)
蝦名康彦 (教育講演)「卵巣がん治療・研究における腹水の可能性」

第 35 回日本女性医学学会学術集会 11 月 21-22 日 (東京, ハイブリッド)
小林範子 「閉経後骨量減少症および骨粗鬆症女性に対する長期的治療効果の検討」

第 65 回日本生殖医学会学術講演会 12 月 3-4 日 (東京, WEB 配信)
和田真一郎 (シンポジウム)「妊娠への影響を考慮した腹腔鏡下子宮筋腫核出術」

第 60 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 12 月 14-1 月 5 日 (神戸, WEB 配信)
櫻木範明 (杉本賞受賞講演)「内視鏡下手術と広汎子宮全摘術」
工藤正尊 (ワークショップ)「帝王切開瘢痕部症候群に対する低侵襲手術」
黒須博之 (ワークショップ)「若手医師が腹腔鏡手術教育を考える (若手医師ならではの斬新なアイデアを募る)」
和田真一郎 (ワークショップ)「若年者の茎捻転は機能温存を-卵巣の変色は必ずしも壊死ではない-」
米原利栄 「卵管間質部妊娠に対する腹腔鏡下手術後に正常分娩に至った子宮内外同時妊娠の一例」

第 30 回日本産婦人科・新生児血液学会 12 月 24-25 日 (福岡, WEB 配信)
森川 守 (ワークショップ)「多施設共同研究の結果について」
森川 守 「先天性アンチトロンビン欠損症合併妊娠の管理指針案」

第 62 回日本婦人科腫瘍学会講演会 2021 年 1 月 29-2 月 11 日 (仙台, WEB 配信)
渡利英道 (JGO セミナー)「論文作成のコツ」
金内優典 (若手医師セミナー)「婦人科腫瘍専門医として求めたいこと」
赤羽慧一郎 「卵巣明細胞癌において γ グルタミルトランスぺプチダーゼ 1 低発現は独立予後不良因子となる」
朝野拓史 「子宮平滑筋肉腫症例の腫瘍免疫関連遺伝子プロファイル解析」

東 正樹 「すりガラス細胞癌成分を認めた子宮体癌の1例」
 飯沼洋一郎 「MSI-High 所見を認めた子宮体部原発神経内分泌癌の一例」
 小田切哲二 「婦人科悪性腫瘍手術に ERAS を導入した術後パス運用前後の検討」
 藤堂幸治 「子宮体癌におけるセンチネルリンパ節(SLN)の術中迅速診断に基づくナビゲーション手術の前方視的研究」
 野崎綾子 「腔断端再発腫瘍切除に 3DCT が有用と思われた 2 症例」
 野崎綾子 「難治性の膈上皮内癌に対しイミキモドクリーム塗布による治療を行った一例」
 松宮寛子 「当院における初期子宮頸部浸潤癌症例における鏡視下広汎子宮全摘術の検討」
 三田村卓 「遺伝性乳癌卵巣癌症候群における卵巣・卵管・腹膜癌の臨床病理学的特徴に関する検討」
 見延進一郎 「化学療法抵抗性あるいは部分感受性再発癌におけるベバシツマブ関連高血圧と無増悪生存期間の関係」
 森脇征史 「進行・再発子宮頸癌に対し Bevacizumab を使用した 12 例の後方視的検討」
 山田竜太郎 「当院における初期子宮頸部浸潤癌症例における鏡視下広汎子宮全摘術の検討」
 米原利栄 「当院における Bevacizumab 維持療法後の再発卵巣癌症例の検討」

第 17 回日本婦人科がん会議 2 月 5-6 日 (静岡, WEB 配信)
 渡利英道 (スポンサードレクチャー) 「卵巣癌に対する治療戦略-新たな治療選択を迎えて-」
 金野陽輔 (シンポジウム) 「婦人科リンパ節郭清手術の Quality Control (JCOG1412 試験を中心として)」

第 11 回日本がん・生殖医療学会学術集会 2 月 12-25 日 (札幌, WEB 配信)
 三國雅人 「当科における医学的適応による胚・卵子、卵巣組織凍結の現状」

第 29 回日本婦人科がん検診学会総会・学術集会 2 月 20-21 日 (新潟, WEB 配信)
 シャロン・ハンリー (ディベートセッション) 「子宮頸がん検診における自己採取 HPV 検査: 女性のエンパワーメントによる、がん制圧のパラダイムシフト」

第 33 回北海道骨粗鬆症研究会学術集会 2 月 27 日 (札幌, WEB 配信)
 小林範子 (シンポジウム) 「婦人科の立場から」

第 9 回日本婦人科ロボット手術学会 3 月 5-20 日 (島根, WEB 配信)
 光部兼六郎 「BMI が 60 を超える高度肥満子宮体癌患者に対するロボット支援下手術の経験」
 森脇征史 「良性疾患に対するロボット支援腹腔鏡下子宮全摘術-適応拡大とトロカー配置の工夫」

第 33 回日本内視鏡外科学会総会 3 月 10-13 日 (横浜, ハイブリッド)
 和田真一郎 (シンポジウム) 「子宮内膜症・子宮腺筋症の手術が周産期に及ぼす影響について」
 飯沼洋一郎 「Laparoscopic surgery for endometrial cancer with pelvic organ prolapse: a case report」
 野崎綾子 「A case of laparoscopic resection using ICG imaging for recurrent colorectal cancer to the vagina」

第 27 回日本産婦人科乳腺医学会 3 月 13-14 日 (札幌, WEB 配信)
 加藤秀則 (イブニングセミナー) 「卵巣癌に対する治療戦略 -新たな治療選択を迎えて-」

小林範子 (教育講演)「乳がん治療と骨代謝」

第 41 回日本肥満学会 3 月 19-21 日 (富山, WEB 配信)
森川 守 (シンポジウム)「肥満合併妊娠の周産期予後」

第 73 回日本産科婦人科学会学術講演会 4 月 22 日-25 日 (新潟, バイブリッド)
シャロン・ハンリー (会長特別企画)「Towards the elimination of cervical cancer in Japan」

青山聖美 「初回の化学療法が奏効した子宮体部原発大細胞型神経内分泌腫瘍の一例」
朝野拓史 「卵巣明細胞癌における KRAS 変異と化学療法感受性の関連」
飯沼洋一郎 「BMI60 超の高度肥満を合併した子宮体癌症例に対するロボット支援下手術治療の経験」
石塚泰也 「子宮頸部扁平上皮癌と稀少癌であるすりガラス細胞癌および腸型粘液性癌に対しトランスクリプトーム解析を行い特徴を比較した」
金川明功 「双胎妊娠における産褥期発症高血圧と危険因子の解析」
吉瀬 馨 「当院で子宮筋腫に対して子宮動脈塞栓術を行った 10 症例の後方視的検討による有効性の検討」
黒須博之 「子宮癌患者の大腰筋筋肉量計測による 3 か月以内死亡予測に関する検討」
小林範子 「SERM の骨密度に対する長期的治療効果に関する検討」
櫻井愛美 「再発腫瘍に対する手術療法が奏効し長期生存が得られた子宮平滑筋肉腫の 1 例」
徐 道知 「PD-L1 is a tumor suppressor in aggressive endometrial cancer cells and its expression is regulated by miR-216a」
藤堂幸治 「子宮体癌におけるセンチネルリンパ節 (SLN) の術中迅速診断に基づくナビゲーション手術の前方視的研究」
中陳哲也 「妊娠中に経腹的子宮頸管縫縮術を施行した 1 例」
中山大輝 「胎児甲状腺腫大と新生児甲状腺機能低下症をきたしたバセドウ病合併妊娠の一例」
野崎綾子 「膠芽腫への悪性転化を来した卵巣成熟嚢胞性奇形腫の一例」
能代 究 「妊娠中のケトン体の推移と妊娠経過への影響に関する検討」
箱山聖子 「妊娠 30 週で発症したサイトメガロウイルス感染症の 1 例」
藤井タケル 「子宮平滑筋肉腫において、腫瘍中の免疫細胞プロファイルが予後と関連している可能性がある」
松宮寛子 「乳癌術後 10 年経過後、腹膜播種、両側卵巣および腔転移により再発と判明した一例」
眞山学徳 「Optimum cutoff value for thrombocytopenia as a sign of maternal organ damage in hypertensive disorders of pregnancy」
三田村卓 「がんゲノムプロファイリング検査で検出された生殖細胞系列変異を疑う所見の開示に関する検討」
見延進一郎 「プラチナ部分感受性再発卵巣癌に対する PARP 阻害剤 (オラパリブ) の使用経験」
森川 守 「妊娠高血圧または妊娠蛋白尿から妊娠高血圧腎症への進行の予測因子：単施設コホート研究」
山崎博之 「子宮全摘術後に劇症型溶血性レンサ球菌感染症を発症した 1 例」
山田竜太郎 「当院における初期子宮頸部浸潤癌症例における鏡視下 (ロボットを含む) 広汎子宮全摘術の検討」
山本竜太郎 「分娩期に遺伝子組み換え第 IX 因子製剤 Nonacog Alfa による補充を行った血

友病 B 保因者妊婦の 1 例」
 良川大晃 「SARS-CoV-2 PCR 検査陽性および濃厚接触者妊婦への対応に苦慮した 3 例」
 和田真一郎 「摘出筋腫数は腹腔鏡下子宮筋腫核出術後の癒着発生に関与する」

第 124 回日本小児科学会 4 月 16-18 日 (京都, ハイブリッド)
 本庄遼太 「生後早期に血管内塞栓術を施行したガレン大静脈瘤の早産児例」

第 65 回日本新生児成育医学会学術集会 5 月 7-9 日 (札幌, WEB 配信)
 長 和俊 (会長講演)「OAS1 異常症発見までの道のり」

第 25 回日本がん分子標的治療学会学術集会 5 月 26-28 日 (東京, WEB 配信)
 朝野拓史 「卵巢癌希少組織型患者由来ゼノグラフトを用いたニラパリブの有効性の検討」

第 27 回日本遺伝性腫瘍学会学術講演会 6 月 18-19 日 (埼玉, WEB 配信)
 黒須博之 「子宮体癌発症を契機に既往歴、家族歴から遺伝性腫瘍を疑い ATM 遺伝子の VUS を認めた一例」

第 18 回北海道周産期談話会 7 月 3 日 (札幌)
 犬走真弓 (修士)「妊娠中の体内水分量と骨盤形態の変化に関する研究」
 金川明功 「仙骨神経根嚢胞合併妊娠に対し選択的帝王切開術を行った一例」
 吉瀬 馨 「妊娠初期に頸管ポリープを認めたのち、中期に頸管無力症と診断された症例の臨床的検討」
 高岡真佐人 「分娩後出血を来した SARS-CoV2 感染妊婦の 2 例」
 高岡真佐人 「札幌での COVID-19 妊婦の発生状況」
 西谷友希 「Fontan 術後妊娠の一例」
 能代 究 「グリーフケアの一環として、死産・人工妊娠中絶時の疼痛緩和法」
 箱山聖子 「当院における治療的子宮頸管縫縮術を施行した症例 10 年の検討」
 三國忠嵩 「当科における近年の未受診妊婦症例の検討」
 山本竜太郎 「COVID-19 の転帰予測因子の検討」
 米原利栄 「妊娠中から胎盤異常を認めるも出生まで確定診断に至らなかった間葉性異形成胎盤および胎児肝芽腫の一例」

第 39 回北海道思春期研究会 7 月 4 日 (札幌, WEB 配信)
 櫻木範明 「AYA 世代の子宮頸がんへの対応」
 シャロン・ハンリー「子宮頸がんのない未来へ：WHO のグローバル戦略」

第 57 回日本周産期・新生児学会 7 月 11-13 日 (宮崎, ハイブリッド)
 馬詰 武 (シンポジウム)「遠隔診療と COVID-19 対応」
 安藤明子 「メチルグルタコン酸尿症 7 型の一例」
 犬走真弓 「妊娠中の体内水分量と骨盤形態の変化に関する研究」
 吉瀬 馨 「妊娠初期に頸管ポリープを認めたのち、妊娠中期に治療的頸管縫縮を施行した症例の臨床経過」
 齊藤良玄 「硝酸薬を用いて急性妊娠性脂肪肝の術後管理をおこなった 1 例」
 千葉健太郎 「新型コロナウイルス流行下における新たな医学教育方法」
 能代 究 「妊娠中の貧血予測に関する検討」
 平山恵美 「妊娠初期の頸管ポリープは、後期流産・早産および頸管無力症のリスク因子である」

- 本庄遼太 「超低出生体重児の未熟児網膜症における光凝固療法と抗 VEGF 療法での比較検討」
- 米原利栄 「当院で経験した副腎性クッシング症候群の一例」
- 和田真一郎 「腹腔鏡下子宮筋腫核出術が、その後の帝王切開に与える影響について」

第 63 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会

7 月 16-18 日 (大阪, ハイブリッド)

- 渡利英道 (ランチョンセミナー) 「卵巣癌に対する治療戦略—新たな治療選択を迎えて—」
- 青山聖美 「遠隔転移を認めた子宮腺肉腫再発の 2 例」
- 秋江惟能 「審査腹腔鏡によって診断し得た傍大動脈リンパ節に転移した漿液性卵管上皮内癌 (STIC) の一例」
- 朝野拓史 「卵巣明細胞癌における KRAS 変異と化学療法感受性の関連」
- 井平 圭 「多発肝転移を伴う S 状結腸原発非妊娠性絨毛癌の 1 例」
- 遠藤大介 「二次性免疫性血小板減少症合併腹膜癌の一例」
- 岡元一平 「子宮頸癌スクリーニングにおける尿検体での HPV 検査の可能性」
- 小田切哲二 「Quiscent gestational trophoblastic disease と考えられた 1 例」
- 金野陽輔 「JCOG1412 試験におけるリンパ節郭清の Quality Control」
- 黒須博之 「子宮癌患者の大腰筋筋肉量変化率と不応性悪液質患者の同定に関する検討」
- 鈴木裕太郎 「高カルシウム血症をきたした PTHrP 産生子宮体癌の一例」
- 田中理恵子 「卵巣原発 mesonephric-like adenocarcinoma の一例」
- 野崎綾子 「希少組織型卵巣がんに対し、がん遺伝子パネル検査結果をもとに治療を選択した一例」
- 松宮寛子 「広範な腹膜播種と卵巣転移により判明した転移性乳癌の二例」
- 見延進一郎 「当院での PARP 阻害薬 (オラパリブ) の使用経験について」
- 森脇征史 「プラチナ感受性再発卵巣癌に対するオラパリブの使用経験」
- 山口景子 「小さな子宮粘膜下腫瘍から見いだされた子宮体部悪性腫瘍の 2 例」
- 山崎博之 「子宮体癌の分子遺伝学的分類を反映する代替マーカーの探索研究」
- 山田竜太郎 「当院での子宮頸癌 1B1 期における鏡視下 (ロボットを含む) 広汎子宮全摘術の検討」
- 山本竜太郎 「G-CSF 産生腫瘍と考えられた卵巣癌の 2 例」
- 山本竜太郎 「腹水貯留・性器出血を認め、悪性黒色腫と診断された一例」

第 68 回北日本産科婦人科学会総会・学術講演会

8 月 28-29 日 (新潟, WEB 配信)

- 渡利英道 (ランチョンセミナー) 「子宮体癌治療の標準化を目指して -MSI-High の最新 topics を含めて-」
- 秋江惟能 「ロボット支援腹腔鏡下子宮全摘術 (RALH) における尿管損傷予防」
- 吉瀬 馨 「妊娠初期に頸管ポリープを認めたのち、妊娠中期に頸管無力症と診断し管理した症例の臨床的検討」
- 高岡真佐人 「一児に Body stalk anomaly を認めた一絨毛膜二羊膜双胎の一例」
- 中陳哲也 「当科における初学者に対するロボット支援下手術教育」
- 安田真子 「子宮頸部に発症した腫瘍先行型骨髄肉腫の一例」
- 山田和佳 「「先天性筋強直性ジストロフィー (Muscular Dystrophy : MD) を背景とした羊水過多の 2 症例」
- 山本竜太郎 「COVID-19 妊婦の転帰予測因子の検討」

JSAWI 第 22 回シンポジウム

9 月 3-4 日 (淡路, WEB 配信)

- 玉城 良 「卵巣卵黄嚢腫患者のリンパ節腫大」

第 10 回国際リンパ浮腫フレームワーク・ジャパン研究協議会学術集会

9 月 4 日 (鴨川, WEB 配信)

小林範子 (ランチョンセミナー)「心に残ったリンパ浮腫症例」

第 61 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会

9 月 11-13 日 (横浜, WEB 配信)

大原康弘 (ワークショップ)「帝王切開癒痕部妊娠に対する腹腔鏡手術戦略」

秋江惟能「当科における初学者に対するロボット支援下手術教育」

中陳哲也「蛍光尿管カテーテルを用いた RALH」

藤井タケル「我々の行う帝王切開癒痕症候群(CSS)に対する術式について」

見延進一郎「初期子宮体癌における腹腔鏡手術後再発例の検討」

山田竜太郎「子宮頸癌 I A1 期患者に対する当院での腹腔鏡下子宮全摘術の後方視的検討」

山田竜太郎「IA1 期の子宮頸癌患者に対する腹腔鏡下子宮全摘術の有用性:後方視的コホート 研究」

米原利栄「当院での高齢子宮体癌症例における腹腔鏡下子宮全摘術の現状」

和田真一郎「uncontained morcellation による LM 後に手術を施行した 314 例における寄生筋腫の発生率と発生症例の検討」

第 44 回日本産婦人科手術学会

9 月 25-10 月 8 日 (鹿児島, WEB 配信)

渡利英道 (ランチョンセミナー)「卵巣癌治療の現状と今後の課題 -手術療法の話を中心に-

三國史嵩「当院における子宮頸管縫縮術を施行した症例の検討」

光部兼六郎「当科における腹腔鏡下仙骨脛固定術 (LSC) からロボット支援下手術 (RSC) への移行について」

第 47 回日本産婦人科医会学術集会

10 月 2-3 日 (札幌, ハイブリッド)

晴山仁志 (会長講演)「母子関係における甘えの意義-デジタル社会でも守るべき普遍的価値-

渡利英道 (教育講演)「子宮体癌治療の標準化を目指した取り組みについて」

第 21 回北海道産婦人科低侵襲手術研究会

10 月 16 日 (札幌)

秋江惟能「慢性骨盤痛と腹腔鏡下手術」

勘野真紀「ロボット支援下仙骨脛固定術の初期経験」

鈴木裕太郎「子宮体癌におけるセンチネルリンパ節 (SLN) の術中迅速診断に基づくナビゲーション手術の前方視的研究」

見延 進一郎「当院での子宮頸癌 I B1 期における鏡視下 (ロボットを含む) 広汎子宮全摘術の検討」

第 98 回北海道産科婦人科学会学術講演会

10 月 17 日 (札幌, WEB 配信)

安藤里沙「妊娠中のサイトメガロウイルス感染予防啓発による効果の検討」

大島琴美「当院において子宮筋腫に対して子宮動脈塞栓術を行った 12 症例」

吉瀬 馨「破水・帝王切開後に生じた尿管周囲後腹膜膿瘍に腹腔鏡下洗浄ドレナージを施行した 1 例」

久世瑞穂 (学生)「妊娠初期に風疹抗体価の上昇を認め妊娠中の再感染が疑われた一例」

工藤ありさ「卵巣成熟奇形腫から悪性転化した HRD 陽性粘液性癌の一例」

高岡真佐人「道央圏における妊婦の COVID-19 発症者数とその入院管理の推移について」

高津三奈 (学生)「Rh 不適合妊娠に対し、胎児輸血を行った一例」

中山大輝「MELF 型浸潤を伴った子宮体がんの一例」

野崎綾子 「当科におけるロボット支援腹腔鏡下仙骨脛固定術（RSC）の導入について」
三國史嵩 「胎児過成長，羊水過多を呈した Gantu 症候群の 1 例」
安田真子 「子宮頸部に発症した腫瘍先行型骨髄肉腫の 1 例」
山田和佳 「一絨毛膜二羊膜双胎の 1 児に全前脳胞症を合併した 1 例」
山本竜太郎 「COVID-19 妊婦の転帰予測因子の検討」
渡邊 碧 「当院での COVID-19 感染拡大防止に伴う誘発分娩に関する検討」

第 37 回日本東洋医学会北海道支部学術大会 10 月 24 日（札幌, WEB 配信）
小林範子 「精神神経疾患を合併した月経前症候群の女性に柴胡加竜骨牡蛎湯が奏功した一例」

第 23 回北海道出生前診断研究会 10 月 30 日（札幌, WEB 配信）
川寄 彩 「当院における双胎妊娠と先天性心疾患に関する検討」

国際学会

(2020 年 11 月～2021 年 10 月)

HPV prevention and Control Board Symposium: Impact of COVID-19 on Cervical Cancer Screening, Treatment and Vaccination (Antwerp, Belgium)
Nov 12-13, 2020

Sharon Hanley : Current Situation of HPV Vaccination Programs in Japan

Sharon Hanley: Interruption in the Cervical Screening Programme- COVID-19 and Japan

Asia-Pacific Economic Cooperation (APEC) Life Sciences Innovation Forum and Health Working Group Policy Dialogue on Cervical Cancer (Kuala Lumpur, Malaysia)
Nov 20- 24, 2020

Sharon Hanley : Current Situation of Cervical Cancer Control in Japan.

“Maintaining Focus on Cervical Cancer Elimination during the COVID-19 Pandemic

International Symposium: COVID-19 in Japan and Bangladesh (Nara, Japan)
Nov 24, 2020

Sharon Hanley : COVID-19- The Situation in Japan,

ESGO 2020 VIRTUAL MEETING Dec 14-16, 2020

Takashi Mitamura : Risk Factors for Lymph Node Metastasis of Ovarian, Fallopian Tube and Primary Peritoneal Cancer in Hereditary Breast and Ovarian Cancer Syndrome

International Symposium: The Societal Impact of COVID-19 in Japan and Indonesia (Nara, Japan)
Feb 24, 2021

Sharon Hanley : Impact of Covid 19 on Society in Japan

The 22nd World Congress of Psycho-Oncology (Kyoto, Japan)
May 26-29, 2021

Sharon Hanley: Lessons Learnt and Way Forward-Sharing Experiences of the HPV Vaccination Program in Japan

The 4th Biennial Meeting of Asian Society of Gynecologic Oncology (Hyderabad, India)
July 1 -5, 2021

Sharon Hanley: Challenging situations in Primary Cervical Cancer Prevention-Japan

**HPV prevention and Control Board Symposium: Reinforcing Access to HPV Vaccination and
Cervical Cancer Screening and Treatment**

(Antwerp, Belgium)

April 15-16, 2021

Sharon Hanley : Current Situation of Cervical Cancer Screening During the COVID-19
Pandemic in Japan

The 22nd European Congress on Gynaecological Oncology (ESGO 2021)

(Prague, Czech Republic + Online)

Oct 23-25, 2021

Hiroshi Asano : Efficacy Analysis of Niraparib using Patient-derived xenograft of
rare subtypes of ovarian cancer

Hiroyuki Kurosu : Clinical relevance of addition of conventional treatment to
concurrent chemoradiotherapy in patients with FIGO stage III-IV
cervical cancer

Hiroyuki Yamazaki : A validation study of modified TCGA classification for patients
with endometrial cancer treated with radical surgery and adjuvant
chemotherapy

研修会など

(2020 年 11 月～2021 年 10 月)

長崎産婦人科周術期セミナー
渡利英道 「子宮頸がん治療の現状と課題」 2020 年 11 月 4 日 (長崎, WEB)

北海道大学病院周産母子センター第 18 回新生児蘇生法「一次」コース講習
古瀬優太 「新生児蘇生法」 11 月 8 日 (札幌)

第 24 回新潟産婦人科漢方研究会
渡利英道 「子宮頸癌の治療の現状と課題-漢方研究を含めて-」 11 月 13 日 (新潟)

北海道大学病院周産母子センター第 19 回新生児蘇生法「一次」コース講習
長 和俊 「新生児蘇生法」 11 月 15 日 (札幌)

Gynecology Expert Meeting 2020
渡利英道 「卵巣がん治療アップデート」 11 月 19 日 (京都, WEB)

2020 年度第 1 回 JSLT 症例から学ぶリンパ浮腫治療講習会
小林範子 「蜂窩織炎を反復する下肢リンパ浮腫に対し医療連携が有効であった一例」 11 月 23-12 月 6 日 (WEB)

第 235 回熊本産科婦人科学会学術講演会
渡利英道 「子宮体癌治療の現状と課題」 11 月 29 日 (熊本, WEB)

ゼジューラ発売記念講演会
藤堂幸治 「PAPP 阻害薬による骨髄抑制マネジメント」 12 月 7 日 (札幌)

東京大学産婦人科学教室講演会
渡利英道 「北海道大学産婦人科における診療・臨床研究の取り組みについて」 12 月 14 日 (東京, WEB)

第 10 回婦人科周術期セミナー
藤堂幸治 「初期子宮頸部浸潤癌における広汎子宮全摘術ロボット支援下でのアプローチ」 2021 年 1 月 16 日 (WEB)

ゼジューラ全国 WEB 講演会
渡利英道 「卵巣癌に対する治療戦略-新たな治療選択を迎えて-」 1 月 21 日 (札幌, WEB)

北海道大学病院 腫瘍センター市民公開講座
三田村 卓 「がんって遺伝するの？」 1 月 24 日 (札幌, WEB)

Ovarian Cancer Conference in Kagawa
渡利英道 「卵巣がん治療アップデート」 2 月 10 日 (香川, WEB)

北海道大学臨床研修センター特別セミナー 2 月 18 日 (札幌, WEB)

小林範子 「研修医が知っておくべき頻用漢方」

持田製薬 WEB 講演会 2月24日 (WEB)
和田真一郎 「深部子宮内膜症の TLH」

第22回山陰婦人科腫瘍研究会 2月25日 (鳥取, WEB)
渡利英道 「子宮体癌治療の標準化を目指して～MSI-Highの最新 topicsを含めて～」

VTE 医療安全セミナー 2021 in 札幌 Web ～ 病院全体で取り組む VTE 予防～
3月6日 (札幌, WEB)
森川 守 「わが国における産科領域の血栓塞栓症(VTE)に関する全国調査」

看護薬理学カンファレンス 2021 in 札幌 3月7日 (札幌, WEB)
小林範子 (教育講演)「ウィメンズヘルスと漢方～解決の選択肢～」

先天性アンチトロンビン欠乏症 WEB 講演会 3月12日 (東京, WEB)
森川 守 「先天性アンチトロンビン欠乏症合併妊娠の管理指針案」

東北婦人科腫瘍研究会 3月13日 (盛岡)
渡利英道 「婦人科がんの標準治療確立を目指して～われわれが取り組んでいる多施設共同臨床試験を中心に～」

第24回山口県婦人科悪性腫瘍研究会 3月18日 (山口)
渡利英道 「子宮体癌治療の現状と課題」

ゼジューラ新発売記念講演会 in Fukui 3月25日 (福井, WEB)
渡利英道 「卵巣がんの新たな治療戦略について～ニラパリブの臨床成績を通じて～」

あすか製薬 WEB 講演会 4月7日 (WEB)
和田真一郎 「巨大子宮筋腫の腹腔鏡手術のコツ」

これからはじめる第6回漢方スタートセミナー 4月27日 (WEB)
小林範子 「不定愁訴と漢方」

令和3年度島根県産科婦人科学会・島根県産婦人科医会学術セミナー
5月9日 (島根, WEB)
渡利英道 「子宮体癌治療の現状と課題」

メディ・ジャパン第3回市民向けウェブセミナー 5月29日 (WEB)
小林範子 「下肢リンパ浮腫のケア～早期から長期まで～」

がんプロ共催第6回がん北海道病院腫瘍センターセミナー 6月10日 (札幌)
シャロン・ハンリー「子宮頸がんワクチン：最近の情報」

Recurrent Ovarian Cancer Conference in Sapporo(Ⅲ) 7月13日 (札幌)
藤堂幸治 「プラチナ感受性再発卵巣癌の unsolved questions」
山田竜太郎 「婦人科癌における脳転移症例-卵巣癌を中心に」

テルモ WEB 講演会 7 月 19 日 (WEB)
和田真一郎 「LM 後の合併症に配慮した手術手技」

ゼジューラ全国 WEB 講演会 7 月 20 日 (札幌, WEB)
渡利英道 「卵巣癌に対する治療戦略-新たな治療選択を迎えて-」

第 95 回兵庫県産科婦人科学会学術集会 8 月 5 日 (札幌, WEB)
渡利英道 「卵巣癌に対する治療戦略-新たな治療選択を迎えて-」

Ovarian Cancer Expert Seminar in Hokkaido 8 月 17 日 (WEB)
藤堂幸治 「進行卵巣癌 薬物療法における最近の取り組み 初回治療から再発治療まで」

新生児蘇生法講習会専門コース 8 月 22 日 (札幌)
長 和俊 「新生児蘇生法」

新生児蘇生法講習会インストラクター・フォローアップコース 10 月 2 日 (札幌)
長 和俊, 古瀬優太, 中村雄一「新生児蘇生法」

Ovarian Cancer TV Seminar 10 月 15 日 (WEB)
藤堂幸治 「リムパーザの服薬マネジメントの考え方」

札幌病院薬剤師会 第 2 回がん専門薬剤師セミナー 10 月 22 日 (札幌)
三田村 卓 「がん化学療法における取り組み 卵巣がん治療ガイドラインとがんゲノム医療を中心に」

これからはじめる第 8 回漢方スタートセミナー 10 月 26 日 (WEB)
小林範子 「冷えと漢方」

新生児蘇生法講習会インストラクター養成コース 10 月 30 日 (札幌)
長 和俊, 古瀬優太「新生児蘇生法」

業績一覧

2020 年 11 月～2021 年 10 月

過年度未掲載分を含む

	英 文	和 文	計
編 集	0	2	2 (1)
著 書	0	11	11 (16)
総 説	2	11	13 (14)
原 著	46	5	51 (47)
症 例	6	6	12 (9)
その他	0	4	4 (6)
計	54 (41)	39 (52)	93 (93)

() は昨年度

論文業績は以下に示すカテゴリーに大別する。筆者著者の50音順，アルファベット順に記載してある。

- 著書：教科書，単行本
 - 単著：単名で執筆した著書
 - 共著：共同で著書あるいは著書の一部の章を執筆したもの。
- 総説：あるテーマについて既報の論文をレビューするなどして解説したもの。
- 原著：自分自身のオリジナルな研究に基づいて新しい事実あるいは結論を報告したもの。最も重要な論文である。速報性が重視される研究結果を報告するRapid Communicationもここに含める。
- 症例報告：極めて稀な疾患あるいはこれまで報告されていない診断・治療の結果について報告するもの。1例報告や数例をまとめたcase seriesがある。

編 集

2020 年 11 月～2021 年 10 月

1. 馬詰 武 他 (2020) : 産婦人科専門医のための必修知識 2020 年度版 必修知識編集委員会委員, 日本産科婦人科学会, 東京
2. 渡利英道 他 (2020) : 子宮頸癌取扱い規約 臨床編 第 4 版, 金原出版, 東京

著 書

2020 年 11 月～2021 年 10 月

単著

なし

共著

英文

なし

和文

1. 蝦名康彦 (2020) : 転移性卵巣腫瘍. 産婦人科専門医のための必修知識 2020, 日本産科婦人科学会 編・監修, 株式会社杏林舎, 東京, ppD108-10
 2. 小林範子 (2020) : 副腎性器症候群. 産婦人科専門医のための必修知識 2020, 日本産科婦人科学会 編・監修, 株式会社杏林舎, 東京, ppE6-7
 3. 藤堂幸治 (2020) : 子宮体癌. 産婦人科専門医のための必修知識 2020, 日本産科婦人科学会 編・監修, 株式会社杏林舎, 東京, ppD75-83
 4. 藤野敬史 (2020) : 外陰および膣の感染症 : vulvovaginal infections. 産婦人科専門医のための必修知識 2020, 日本産科婦人科学会 編・監修, 株式会社杏林舎, 東京, ppE75-6
 5. 森川 守 (2020) : HELLP 症候群, 急性妊娠脂肪肝. 産婦人科専門医のための必修知識 2020, 日本産科婦人科学会 編・監修, 株式会社杏林舎, 東京, ppB76-9
-
6. 朝野拓史, 渡利英道 (2021) : 卵巣癌の初回治療時の薬物療法の概説. 産婦人科の実際 70(5), 金原出版, 東京, pp465-71
 7. 馬詰 武 (2021) : 心収縮力の評価. 産科セッティングで行う 母体の心血管エコー. メジカルビュー社, 東京, P80-99
 8. 馬詰 武 (2021) : 妊娠高血圧症候群. 産科セッティングで行う 母体の心血管エコー

一. メジカルビュー社, 東京, P163-183

9. 馬詰 武 (2021) : 遠隔地の医療. 産婦人科の実際 Vol. 70 No. 7 ポストコロナ時代の産婦人科医療. 金原出版, 東京, P709-714

10. 馬詰 武 (2021) : CTG を用いた遠隔医療. 産科と婦人科 88(5), 診断と治療社, 東京, pp614-7

11. 蝦名康彦, 山田秀人 (2021) : 先天性アンチトロンビン欠乏症. 不育症, 竹下俊行共編, MEDICAL VIEW 社, 東京, pp146-50

総 説

2020 年 11 月～2021 年 10 月

英文

1. Dong P, Xiong Y, Konno Y, Ihira K, Xu D, Kobayashi N, Yue J, Watari H. Critical Roles of PIWIL1 in Human Tumors: Expression, Functions, Mechanisms, and Potential Clinical Implications. *Front Cell Dev Biol.* 2021;9:656993
2. Konno Y, Asano H, Shikama A, Aoki D, Tanikawa M, Oki A, Horie K, Mitsuhashi A, Kikuchi A, Tokunaga H, Terao Y, Satoh T, Ushijima K, Ishikawa M, Yaegashi N, Watari H. Lymphadenectomy issues in endometrial cancer. *J Gynecol Oncol.* 2021 Mar;32(2):e25

和文

3. 長 和俊 (2020) : OAS1 欠損症 原発性免疫不全症候群. *日本臨床* 78 (増刊) : 403-7
4. 長 和俊 (2020) : 疾患に対する薬剤の選び方・使い方・注意点 呼吸器系疾患 呼吸窮迫症候群. *周産期医学* 50 (増刊) : 549-51
5. 長 和俊 (2020) : 基本的薬剤の選び方・使い方・注意点 呼吸器系薬剤 呼吸窮迫症候群. *周産期医学* 50 (増刊) : 352-4
6. 森川 守 (2020) : 【周産期の薬】産科編 疾患に対する薬剤の選び方・使い方・注意点 合併症妊娠 消化管・肝臓・胆道系疾患 肝疾患(解説/特集). *周産期医学* 50(増刊) : 159-62
7. 渡利英道, 金野陽輔 (2020) : 論文のまとめ方 : 実践編 臨床研究のまとめ方 研究デザインの設定から正しい結果の導き方まで. *臨床婦人科産科* 74(11) : 1145-9
8. 太田英伸, 安達裕行, 有光威志, 兼次洋介, 長 和俊, 齋藤朋子, 下風朋章, 豊島勝昭 (2021) : NICU 空間を光・音で切り分ける 神奈川こどもでの試みも含めて. *小児外科* 53(7) : 700-3
9. 加藤扶美, 竹中淳規, 三田村 卓 (2021) : 子宮頸がん. *産科と婦人科* 88 Suppl : 335-45
10. 長 和俊 (2021) : 呼気終末陽圧の効果. *周産期医学* 51(7) : 1007-9
11. 森川 守 (2021) : 微弱陣痛編 陣痛が弱いままで破水したら? ベリネイタルケア 40(8) : 754-9
12. 森川 守 (2021) : 周産期 (Q5) 以前, 性器ヘルペスにかかったことがあります. 何か問題はありますか? *臨床婦人科産科* 75(4) : 117-8
13. 山崎博之, 金野陽輔, 渡利英道 (2021) : 子宮体がんに対し傍大動脈リンパ節郭清を行うにあたっての患者説明. *臨床婦人科産科* 75 (4) : 341-5

原著論文

2020 年 11 月～2021 年 10 月

英文

1. Nishimura Y, Moriya K, Kobayashi S, Araki A, Sata F, Mitsui T, Itoh S, Miyashita C, Cho K, Kon M, Nakamura M, Kitta T, Murai S, Kishi R, Shinohara N. Association of exposure to prenatal phthalate esters and bisphenol A and polymorphisms in the ESR1 gene with the second to fourth digit ratio in school-aged children: Data from the Hokkaido study. *Steroids*. 2020;159:108637
2. Nishio S, Murotani K, Nakao S, Takenaka M, Suzuki S, Aoki Y, Todo Y, Hosaka M, Nakai H, Katabuchi H, Nishi H, Takekuma M, Mikami M, Enomoto T. Investigation of clinicopathological features of vulvar cancer of 1068 patients: a Japanese Gynecologic Oncology Group (JGOG) nationwide survey study. *Gynecol Oncol*. 2020 Nov;159(2):449-55
3. Ono Y, Yoshino O, Hiraoka T, Sato E, Fukui Y, Ushijima A, Nawaz A, Hirota Y, Wada S, Tobe K, Nakashima A, Osuga Y, Saito S. CD206+ M2-Like Macrophages Are Essential for Successful Implantation. *Front Immunol*. 2020 Oct 23;11: 557184
4. Umazume T, Yamada T, Furuta I, Iwano H, Morikawa M, Watari H, Minakami H. Morphofunctional cardiac changes in singleton and twin pregnancies: a longitudinal cohort study. *BMC Pregnancy Childbirth*. 2020;20(1):750
5. Yoshino O, Ono Y, Honda M, Hattori K, Sato E, Hiraoka T, Ito M, Kobayashi M, Arai K, Katayama H, Tsuchida H, Yamada-Nomoto K, Iwahata S, Fukushima Y, Wada S, Iwase H, Koga K, Osuga Y, Iwaoka M, Unno N. Relaxin-2 may suppress endometriosis by reducing fibrosis, scar formation, and inflammation. *Biomedicines*. 2020 Oct 31;8(11):467
6. Xu D, Dong P, Xiong Y, Chen R, Konno Y, Ihira K, Yue J, Watari H. PD-L1 Is a Tumor Suppressor in Aggressive Endometrial Cancer Cells and Its Expression Is Regulated by miR-216a and lncRNA MEG3. *Front Cell Dev Biol*. 2020;8:598205
-
7. Ando A, Ohta H, Yoshimura Y, Nakagawa M, Asaka Y, Nakazawa T, Mitani Y, Oishi Y, Mizushima M, Adachi H, Kaneshi Y, Morioka K, Shimabukuro R, Hirata M, Ikeda T, Fukutomi R, Kobayashi K, Ozawa M, Takeshima M, Manabe A, Takahashi T, Mishima K, Kusakawa I, Yoda H, Kikuchi M, Cho K. Sleep maturation influences cognitive development of preterm toddlers. *Sci Rep*. 2021 Aug 5;11(1):15921
8. Castanon A, Rebolj M, Burger E, de Kok I, Smith M, Hanley SJB, Carozzi F, Peacock S, O'Mahony J. Optimal cervical screening COVID-19 recovery strategies in high-income countries depend on context of current programme organization, *Lancet Public Health* 2021 Jul;6(7):e522-7

9. Chida-Nagai A, Sato H, Sato I, Shiraishi M, Sasaki D, Izumi G, Yamazawa H, Cho K, Manabe A, Takeda A. Risk factors for hospitalisation due to respiratory syncytial virus infection in children receiving prophylactic palivizumab. *Eur J Pediatr*. 2021 Aug 21. Online ahead of print.
10. Cho K, Kobayashi S, Araki A, Miyashita C, Itoh S, Saijo Y, Ito Y, Sengoku K, Baba T, Minakami H, Nakamura Y, Kishi R; Japan Environment and Children's Study Group. Prenatal alcohol exposure and adverse fetal growth restriction: findings from the Japan Environment and Children's Study. *Pediatr Res*. 2021 Jun 4. Online ahead of print.
11. Dong P, Xiong Y, Konno Y, Ihira K, Kobayashi N, Yue J, Watari H. Long non-coding RNA DLEU2 drives EMT and glycolysis in endometrial cancer through HK2 by competitively binding with miR-455 and by modulating the EZH2/miR-181a pathway. *J Exp Clin Cancer Res*. 2021;40(1):216
12. Ebina Y, Yamagami W, Kobayashi Y, Tabata T, Kaneuchi M, Nagase S, Enomoto T, Mikami M. Clinicopathological characteristics and prognostic factors of ovarian granulosa cell tumors: A JSGO-JSOG joint study. *Gynecol Oncol*. 2021 Nov;163(2):269–273.
13. Hamanishi J, Takeshima N, Katsumata N, Ushijima K, Kimura T, Takeuchi S, Matsumoto K, Ito K, Mandai M, Nakai H, Sakuragi N, Watari H, Takahashi N, Kato H, Hasegawa K, Yonemori K, Mizuno M, Takehara K, Niikura H, Sawasaki T, Nakao S, Saito T, Enomoto T, Nagase S, Suzuki N, Matsumoto T, Kondo E, Sonoda K, Aihara S, Aoki Y, Okamoto A, Takano H, Kobayashi H, Kato H, Terai Y, Takazawa A, Takahashi Y, Namba Y, Aoki D, Fujiwara K, Sugiyama T, Konishi I. Nivolumab Versus Gemcitabine or Pegylated Liposomal Doxorubicin for Patients With Platinum-Resistant Ovarian Cancer: Open-Label, Randomized Trial in Japan (NINJA). *J Clin Oncol*. 2021 Sep 2:JC02100334. doi: 10.1200/JCO.21.00334. Online ahead of print.
14. Hanley SJB, Fujita H, Aoyama-Kikawa S, Kasamo M, Torigoe T, Matsuno Y, Sakuragi N. Evaluation of partial genotyping with ϵ b0HPV16/18 for triage of HPV positive, ϵ b0cytology negative women in the COMPACT study. *J Gynecol Oncol*. 2021 Nov;32(6):e86
15. Hirayama E, Ebina Y, Kato K, Akabane-Nakagawa K, Okuyama K: Cervical polyps in early pregnancy are a risk factor for late abortion and spontaneous preterm birth: A retrospective cohort study. *Int J Gynaecol Obstet*. 2021 Jan 20.
16. Itosu Y, Kubo Y, Morikawa M, Watari H, Morimoto Y. Changes of cerebral oxygenation indices measured by near infrared time-resolved spectroscopy during spinal anesthesia for cesarean section: Simultaneous measurement with cerebral blood flow. *J Obstet Gynaecol Res*. 2021;47:2371–9
17. Kikuchi J, Ohhara Y, Takada K, Tanabe H, Hatanaka K, Amano T, K CH, Hatanaka Y, Mitamura T, Kato M, Shibata Y, Yabe I, Endoh A, Komatsu Y, Matsuno Y, Sugiyama M,

- Manabe A, Sakurai A, Takahashi M, Naruse H, Torimoto Y, Dosaka-Akita H, Kinoshita I. Clinical significance of comprehensive genomic profiling tests covered by public insurance in patients with advanced solid cancers in Hokkaido, Japan. *Jpn J Clin Oncol*. 2021;51(5):753-61
18. Kudo R, Sekine M, Yamaguchi M, Hara M, Hanley SJB, Ueda Y, Yagi A, Adachi S, Kurosawa M, Miyagi E, Enomoto T. Internet Survey of Awareness and Behavior Related to HPV Vaccination in Japan. *Vaccines*. 2021 Jan 25;9(2):87
19. Kurosu H, Todo Y, Yamada R et al. A BMI-category distribution pattern of intrinsic and treatment-related prognostic factors in endometrial cancer. *Jpn J Clin Oncol*. 2021;51(5):722-7
20. Kurosu H, Todo Y, Yamada R et al. Clinical implication of psoas muscle mass measurement for predicting death within 3 months in patients with incurable uterine cervical or corpus malignancy. *Jpn J Clin Oncol*. 2021;51(4):577-83
21. Mayama M, Morikawa M, Yamada T, Umazume T, Noshiro K, Nakagawa K, Saito Y, Chiba K, Kawaguchi S, Watari H. Mild thrombocytopenia indicating maternal organ damage in pre-eclampsia: a cross-sectional study. *BMC Pregnancy Childbirth*. 2021;21:91
22. Mitamura T, Sekine M, Arai M, Shibata Y, Kato M, Yokoyama S, Yamashita H, Watari H, Yabe I, Nomura H, Enomoto T, Nakamura S, and the Registration Committee of the Japanese Hc. The disease sites of female genital cancers of BRCA1/2-associated hereditary breast and ovarian cancer: a retrospective study. *World J Surg Oncol*. 2021;19(1):36
23. Morikawa M, Matsunaga S, Makino S, Takeda Y, Hyoudo H, Nii M, Serizawa M, Itakura A, Adachi T, Kobayashi T. Effect of hypofibrinogenemia on obstetrical disseminated intravascular coagulation in Japan in 2018: a multicenter retrospective cohort study. *Int J Hematol*. 2021;114:18-34
24. Morikawa M, Mayama M, Noshiro K, Saito Y, Nakagawa-Akabane K, Umazume T, Chiba K, Kawaguchi S, Watari H. Earlier onset of proteinuria or hypertension is a predictor of progression from gestational hypertension or gestational proteinuria to preeclampsia. *Sci Rep*. 2021;11:12708
25. Morikawa M, Saito Y, Mayama M, Noshiro K, Nakagawa-Akabane K, Umazume T, Chiba K, Watari H. Excessive gestational weight gain during the week prior to delivery as a predictor of maternal life-threatening complications in preeclamptic women. *J Obstet Gynaecol Res*. 2021 Oct;47(10):3498-508
26. Morikawa M, Yamada T, Saito Y, Noshiro K, Mayama M, Nakagawa-Akabane K, Umazume T, Chiba K, Kawaguchi S, Watari H. Predictors of recurrent gestational diabetes mellitus: A Japanese multicenter cohort study and literature review. *J Obstet Gynaecol Res*. 2021;47:1292-304

27. Nakagawa K, Umazume T, Mayama M, Chiba K, Saito Y, Noshiro K, Morikawa M, Yoshino M, Watari H. Survey of attitudes of individuals who underwent remote prenatal check-ups and consultations in response to the COVID-19 pandemic. *J Obstet Gynaecol Res.* 2021;47:2380-6
28. Oishi T, Kigawa J, Iwanari O, Kasai T, Kurokawa T, Hamada M, Fujita H, Fujiwara H, Yokoyama M, Sakuragi N, Harada T, Suzuki M. Is cytology/HPV co-testing for cervical cancer screening useful in Japan? *Int J Gynaecol Obstet.* 2021 Oct 4. Online ahead of print.
29. Onda T, Akimoto T, Hayasaka I, Ikeda M, Furuse Y, Ando A, Nakamura Y, Honjo R, Manabe A, Furuta I, Cho K. Incidence of alveolar capillary dysplasia with misalignment of pulmonary veins in infants with unexplained severe pulmonary hypertension: The roles of clinical, pathological, and genetic testing. *Early Hum Dev.* 2021 Apr;155:105323
30. Ono Y, Kawakita T, Yoshino O, Sato E, Kano K, Ohba M, Okuno T, Ito M, Koga K, Honda M, Furue A, Hiraoka T, Wada S, Iwasa T, Yokomizo T, Aoki J, Maeda N, Unno N, Osuga Y, Hirata S. Sphingosine 1-Phosphate (S1P) in the Peritoneal Fluid Skews M2 Macrophage and Contributes to the Development of Endometriosis. *biomedicines Article.* 2021;(11):1-11
31. Ono Y, Ota H, Takimoto K, Tsuzuki Y, Nakajima A, Yoshino O, Unno N, Fujino T, Fukushima Y, Wada S. Perinatal outcomes associated with the positional relationship between the placenta and the adenomyosis lesion. *J Gynecol Obstet Hum Reprod.* 2021 Sep;50(7):102114
32. Ono Y, Yoshino O, Hiraoka T, Sato E, Furue A, Nawaz A, Hatta H, Fukushima Y, Wada S, Tobe K, Hirota Y, Osuga Y, Unno N, Saito S. CD206+ macrophage is an accelerator of endometriotic-like lesion via promoting angiogenesis in the endometriosis mouse model. *Sci Rep.* 2021 Jan 13;11(1):853
33. Sakai K, Yamagami W, Machida H, Ebina Y, Kobayashi Y, Tabata T, Kaneuchi M, Nagase S, Enomoto T, Aoki D, Mikami M. A retrospective study for investigating the outcomes of endometrial cancer treated with radiotherapy. *Int J Gynaecol Obstet.* 2021 Apr 29. doi: 10.1002/ijgo.13725. Epub ahead of print.
34. Sakuragi N, Kaneuchi M. Paracervical and Paravaginal Tissue Dissection in the Okabayashi-Kobayashi Radical Hysterectomy and Nerve-Sparing Technique. *Int J Gynecol Cancer* 2021;31:145-6
35. Saotome K, Yamagami W, Machida H, Ebina Y, Kobayashi Y, Tabata T, Kaneuchi M, Nagase S, Enomoto T, Aoki D, Mikami M. Impact of lymphadenectomy on the treatment of endometrial cancer using data from the JSOG cancer registry. *Obstet Gynecol Sci.* 2021 Jan;64(1):80-9
36. Smith MA, Burger EA, Castanon A, de Kok IMCM, Hanley SJB, Rebolj M, Hall MT,

Jansen EEL, Killen J, O' Farrell X., Kim JJ., Canfell K., Impact of disruptions and recovery for established cervical screening programs across a range of high-income country program designs, using COVID-19 as an example: A modelled analysis, *Prev Med.* 2021;151:106623

37. Tsuzuki Y, Hirata T, Tsuzuki S, Wada S, Tamakoshi A. Risk factors of vaginal cuff infection in women undergoing laparoscopic hysterectomy for benign gynecological diseases. *The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research.* 2021;1-8

38. Umazume T, Miyagi E, Haruyama Y, Obata S, Kobashi G, Kurasawa K, Suzuki Y, Ikeda T, Kimura T, Yamada H. The physical and mental burden on obstetricians and gynecologists during the COVID-19 pandemic: A September 2020 questionnaire study. *J Obstet Gynaecol Res.* 2021;47(9):3001-7

39. Wang B, Li H, Zhao X, Zhang W, Zhao G, Wu Z, Zhang R, Dong P, Watari H, Tigyi G, Li W, Yue J. A Luminacin D Analog HL142 Inhibits Ovarian Tumor Growth and Metastasis by Reversing EMT and Attenuating the TGF β and FAK Pathways. *J Cancer.* 2021;12(18):5654-63

40. Watanabe Y, Saito Y, Mitamura T, Takekuma Y, Sugawara M. Adding aprepitant to palonosetron does not decrease carboplatin-induced nausea and vomiting in patients with gynecologic cancer. *J Pharm Health Care Sci.* 2021;7(1):21

41. Yamaguchi M, Sekine M, Hanley SJB, Kudo R, Hara M, Adachi S, Ueda Y, Miyagi E, Enomoto T. Risk factors for HPV infection and high-grade cervical disease in sexually active Japanese women. *Sci Rep.* 2021 Feb 3;11(1):2898

42. Yamazaki H, Mitamura T, Ihira K, Endo D, Sakurai M, Konno Y, Watari H. The difficulty to diagnose cervical cancer developing in the perinatal period with the first-trimester cytology: A retrospective study. *J Obstet Gynaecol Res.* 2021 Sep;47(9):3303-9

43. Yamazaki H, Wada T, Asano H, Fujita H. Okamoto K, Watari H. Comparison between Urine and Cervical High-Risk HPV Tests for Japanese Women with ASC-US. *Diagnostics(Basel).* 2021;11(10):1895

44. YamadaR, Todo Y, Kurosu H, Minowa K, Tsuruta T, Minobe S , Matsumiya H, Kato H, Mori Y, Osanai T. Validity of measuring psoas muscle mass index for assessing sarcopenia in patients with gynecological cancer. *Japanese Journal of Clinical Oncology.* 2021 Mar 3;51(3):393-9

45. Yamada R, Tsuruta T, Todo Y, Kurosu H, Minowa K, Minobe S, Matsumiya H, Kato H, Mori Y, Osanai T. Validity of skeletal muscle mass index measurements for assessing sarcopenia in patients with gynecological cancer. *Jpn J Clin Oncol.* 2021 Oct 5;51(10):1534-40

46. Zhao G, Zhang W, Dong P, Watari H, Guo Y, Pfeffer LM, Tigyi G, Yue J. EIF5A2 controls ovarian tumor growth and metastasis by promoting epithelial to mesenchymal transition via the TGF β pathway. Cell Biosci. 2021;11(1):70

和文

47. 松尾 汎, 上田 享, 河村 進, 小林範子, 佐藤佳代子, 田尻寿子, 徳川奉樹, 春田直樹 (2020): 委員会報告: リンパ浮腫診療におけるチーム医療のあり方小委員会, リンパ浮腫診療における「チーム医療」に関する検討. 日本リンパ浮腫治療学会雑誌 4(1): 68-79

48. 三國雅人, 佐久間一郎 (2020): 北海道の女性アスリートの健康維持における婦人科医の役割に関する検討. 北海道スポーツ協会スポーツ科学委員会研究報告 41:6-10

49. 小野洋輔, 福士義将, 今井一章, 島袋朋乃, 松本沙知子, 滝本加奈子, 太田 創, 都築陽欧子, 中島亜矢子, 渡邊祐介, 今村清隆, 加藤健太郎, 高田 実, 中村文隆, 加藤 慧, 藤野敬史, 和田真一郎(2021):当院で腹腔鏡手術を施行した腸管子宮内膜症症例 11 例の検討. 手稲溪仁会病院医学雑誌 2021;5-11

50. 谷口しのぶ, 櫻木範明, シャロン・ハンリー, 築山真如, 藤田博正, 寒河江 悟, 梶井直文, 渡利英道, 玉腰暁子 (2021): 細胞診と自己採取ヒトパピローマウイルス検査を選べることの効果: 北海道での子宮頸がん検診未受診者対策の成績. 日本公衆衛生雑誌 J-STAGE 早期公開 doi:10.11236/jph.21-025

51. 津村宣彦, 菅原美佳, 大石真由, 城野 茜, 互野良恵, 重永直善, 古木啓介 (2021): 当院における過去10年間の母体搬送・産科救急搬送の検討. 市立千歳市民病院医誌 17 (1):5-7

症例報告

2020 年 11 月～2021 年 10 月

(* : 過年度未掲載分)

英文

1. Kitano A, Nakaguro M, Tomotaki S, Hanaoka S, Kawai M, Saito A, Hayakawa M, Takahashi Y, Kawasaki H, Yamada T, Ikeda M, Onda T, Cho K, Haga H, Nakazawa A, Minamiguchi S. A familial case of alveolar capillary dysplasia with misalignment of the pulmonary veins: the clinicopathological features and unusual glomeruloid endothelial proliferation. *Diagn Pathol* 2020;15(1):48

2. Yamada S, Furuse Y, Ikeda M, Onda T, Cho K. High-flow nasal cannula therapy in a case of spondylocostal dysostosis type 2. *Pediatr Int.* 2020;62(11):1289-90

3. Ito K, Chida-Nagai A, Sasaki O, Kato N, Umazume T, Kawaguchi S, Cho K, Izumi G, Yamazawa H, Takeda A. Total Anomalous Pulmonary Venous Connection with Lethal Pulmonary Venous Obstruction Managed by Multidisciplinary Cooperation. *Case Rep Pediatr.* 2021:6619458

4. Nishida D, Kawabe S, Iwata N, Cho K. ABCA3 deficiency dramatically improved by azithromycin administration. ABCA3 deficiency dramatically improved by azithromycin administration. *Pediatr Int.* 2021;63(5):602-4

5. Ono Y, Okumura R, Hatanaka KC, Sato Y, Ota H, Fukushi Y, et al. The first case of congenital syphilis diagnosed by 16S ribosome-RNA gene sequence analysis. *Journal of Infection and Chemotherapy* [Internet]. 2021;(August). Available from: <https://doi.org/10.1016/j.jiac.2021.10.016>

6. Yamaguchi M, Umazume T, Noshiro K, Watari H. Attenuation imaging as a new ultrasonographic application for identifying placental haematoma. *BMJ Case Rep.* 2021;14(3):e239287

和文

7. 野口愛菜, 藤枝聡子, 渡邊 碧, 永井 匠, 能代 究, 久馬理史, 計良光昭, 三島 隆 (2020): 帝王切開術後に深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症を来した Mirror 症候群. *北海道産科婦人科学会会誌* 64(1):41-47*

8. 西村真唯, 中島亜矢子, 今井一章, 福士義将, 和田真一郎, 藤野敬史 (2020): 子宮癌肉腫・卵巣癌の重複癌患者が術後 13 日目に突然の視力低下を認め, Posterior Reversible Encephalopathy Syndrome (PRES) と診断した一例. *日本婦人科腫瘍学会雑誌* 38(4):343-7

9. 米原利栄, 東 正樹, 前田悟郎, 東 大樹, 青柳有紀子, 山口辰美 (2020): 腹腔鏡下で再発腫瘍切除を行った腹膜偽粘液腫の一例. *日本産科婦人科内視鏡学会雑誌* 36(2):227-34

10. 浅井聡子, 和田真一郎, 太田 創, 堀内美香, 鈴木 凜, 土肥龍平, 高田美乃莉, 島袋朋乃, 小野洋輔, 滝本加奈子, 中谷真紀子, 都築陽欧子, 福士義将, 藤野敬史, 中島亜矢子 (2021) : B-Lynch 縫合後に Asherman 症候群を来した 1 例. 手稻溪仁会病院医学雑誌 13:19-21

11. 加藤 慧, 小野洋輔, 和田真一郎, 福士義将, 滝本可奈子, 都築陽欧子, 神谷知里, 藤野敬史 (2021) : 帝王切開瘢痕症候群による続発性不妊に対し, 子宮鏡下瘢痕部焼灼を行い, 妊娠に至った 1 例. 日産婦内視鏡学会誌 37:84-8

12. 堀内美香, 中島亜矢子, 和田真一郎, 滝本加奈子, 鈴木徹平, 鈴木 凜, 土肥龍平, 高田美乃莉, 浅井聡子, 島袋朋乃, 松本沙知子, 小野洋輔, 中谷真紀子, 都築陽欧子, 太田創, 福士義将, 藤野敬史, 篠原敏也 (2021) : 子宮腺筋症に対する保存的治療中に, 子宮体部筋層から発生した悪性腫瘍 2 症例の検討. 手稻溪仁会病院医学雑誌 13:13-8

その他

2020 年 11 月～2021 年 10 月

1. 小林範子(2020):10 周年記念 理事の言葉. リンパ浮腫治療管理の研究と実践 8(1) suppl: 8

-
2. 小林範子(2021): 産婦人科の診察室から薬剤師さんへ (1/13) . Pharma Tribune web:
<https://ptweb.jp/article/2021/210113004174/ctest.php>
 3. Hanley SJB: HPV Vaccination- The Cost of Inaction, HPV World, May 2021
 4. Takaoka M, Umazume T, Watari H (2021): [Letter to the editor] Importance to release of the number of pregnant women with COVID-19 to help build the perinatal medical care system in Japan. J Obstet Gynaecol Res. 2021;47(11):4127-8

論文以外の活動

2020 年 11 月～2021 年 10 月

1. 小林範子(2021): (監修) もっと Happy への道～今が未来を変える コウネンキを楽にすごすためにできること. Kampo View 電子 Book:22
2. 小林範子 (2021) : (監修) 血の道症 Medical Note (<https://medicalnote.jp/diseases/血の道症>)

研究費補助金・助成金・奨学金（2021年度）

文部科学省・日本学術振興会科学研究補助金

渡利英道：（基盤研究 C）「ハイドロゲルを用いたがん幹細胞形質の誘導と新規治療標的の探索」（代表研究者・新規）

蝦名康彦：（基盤研究 C）「ネットワーク分析による産後うつ病の精神病理の解明と個別化した支援の探求」（代表研究者・新規）

長和 俊：（基盤研究 C）「早産児の知的発達を促す睡眠プログラムの開発」（分担研究者・新規）

長和 俊：（基盤研究 C）「早産児の慢性肺疾患の重症度予測モデル構築のための多施設共同前方視的コホート研究」（分担研究者・新規）

馬詰 武：（若手研究）「妊娠・出産に伴う血中ケトン体の役割：胎児の成長と産後うつ病の回避」（代表研究者・継続）

三田村 卓：（基盤研究 C）「卵巣がんの血管新生阻害薬耐性の発生を予防するための CCR2 阻害薬併用療法の開発」（代表研究者・継続）

古田伊都子：（基盤研究 C）「妊娠高血圧腎症の発症を予知する尿中バイオマーカーの探索」（代表研究者・継続）

シャロン・ハンリー：（基盤研究 B）「子宮頸がん検診受診率向上のための看護職によるスメアテイク制度の確立」（分担研究者・新規）

シャロン・ハンリー：（基盤研究 B）「MDG5 達成に向けたアジアのマタニティ政策の検証-脱医療化とポジティブな出産経験」（分担研究者・継続）

厚生労働科学研究費補助金・委託費

なし

日本医療研究開発機構（AMED）

渡利英道：（革新的がん医療実用化研究事業）「シスプラチンを含む化学療法を施行される子宮がん患者の嘔気・嘔吐に対する六君子湯の効果-プラセボ対照無作為化二重盲検比較検証試験」（代表研究者・継続）

渡利英道：（新興・再興感染症研究基盤創生事業）「病態進展に関与するウイルス叢の性状および進化機構の解明」（分担研究者・新規）

渡利英道：(感染症実用化事業 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業)「思春期女性への HPV ワクチン公費助成開始後における子宮頸癌の HPV16/18 陽性割合の推移に関する疫学研究」 (分担研究者・継続)

その他

渡利英道：(共同研究)「難治性婦人科悪性腫瘍に対する PARP 阻害薬・niraparib の有効性に関する臨床的・基礎的検討」 (実施責任者・継続)

渡利英道：(受託研究)「BRCA 関連バイオマーカー {Mutational Signature-based Biomarker:MSBM} の探索研究」 (実施責任者・継続)

渡利英道：(受託研究)「局所進行子宮頸癌根治放射線療法施行例に対する UFT による補助化学療法のランダム化第Ⅲ相比較試験」 (実施責任者・継続)

渡利英道：(医師主導治験)「進行性／再発性の子宮体がん患者を対象にパクリタキセル＋カルボプラチンにアテゾリズマブを併用する二重盲検プラセボ対照ランダム化第Ⅲ相比較試験-子宮体がんを対象としたアテゾリズマブの医師主導治験- (AtTEnd)」 (実施責任者・継続)

渡利英道：(医師主導治験)「再発プラチナ抵抗性または不応性卵巣癌，卵管癌又は原発性腹膜癌女性患者を対象にセジラニブとオラパリブの併用を，セジラニブ単剤又はオラパリブ単剤又は標準的な化学療法と比較するランダム化第Ⅱ/Ⅲ相試験(COCOS)」 (実施責任者・継続)

渡利英道：(医師主導治験)「統合型ゲノム解析によるトランスレーショナルリサーチを用いた，高異型度卵巣癌患者を対象としたオラパリブ維持療法に関する多施設共同第Ⅱ相臨床試験」 (実施責任者・継続)

渡利英道：(医師主導治験)「HRD 陽性再発・難治性婦人科希少がんに対する Niraparib の安全性・有効性を評価する単群・非盲検第Ⅱ相試験」 (実施責任者・新規)

渡利英道：(医師主導治験)「根治手術後の初発高リスク子宮体癌患者を対象とした術後化学療法+MK3475 と術後化学療法+プラセボを比較する第Ⅲ相、無作為化、二重盲検試験 (KEYNOTE-B21/ENGOT-en11/GOG-3053)」 (実施責任者・新規)

渡利英道：(医師主導治験)「プラチナ製剤抵抗性の再発卵巣がん患者を対象とした ofranergene obadenovec (VB-111)+パクリタキセル群とプラセボ+パクリタキセル群の多施設共同無作為化二重盲検比較試験 (OVAL 試験)」 (実施責任者・新規)

渡利英道：(医師主導治験)「A Randomized, Open-Label, Phase 3 Trial of Tisotumab Vedotin vs Investigator's Choice Chemotherapy in Second-or Third-Line recurrent or Metastatic Cervivical Cancer 二次又は三次治療の再発又は転移を有する子宮頸がんを対象に tisotumab vedotin と治療担当医師が選択した化学療法とを比較検討する、第3相、無作為化、非盲検試験」 (実施責任者・新規)

渡利英道：(医師主導治験)「血中循環腫瘍 DNA に FGFR 遺伝子異常を有する難治性の治癒切除不能な進行・再発の固形がん患者に対する TAS-120 単独療法の有効性及び安全性を評価する多施設共同臨床第Ⅱ相バスケット試験」(分担医師・継続)

渡利英道：(医師主導治験)「血中循環腫瘍 DNA で HER2 遺伝子増幅が検出された切除不能固形がん患者を対象とする DS-8201a 療法の多施設共同臨床第Ⅱ相試験」(分担医師・継続)

渡利英道：(企業治験)「白金製剤抵抗性/不応性卵巣癌患者を対象とした AVELUMAB (MSB0010718C) の単剤療法またはペグ化リポゾーマルドキソルビシンとの併用療法をペグ化リポゾーマルドキソルビシンの単剤療法と比較する多施設共同、ランダム化、無作為化、非盲検、第3相試験」(実施責任者・継続)

渡利英道：(企業治験)「直近のプラチナ製剤を含む化学療法で完全奏効又は部分奏効が得られたプラチナ製剤感受性の再発性上皮性卵巣癌、卵管癌又は原発性腹膜癌の日本人患者を対象として Niraparib の安全性を評価する、第2相、多施設共同、非盲検、単群試験」(実施責任者・継続)

渡利英道：(企業治験)「BRCA 変異陰性の進行上皮性卵巣がんの未治療患者を対象としたペムブロリズマブ及び化学療法併用投与後に維持療法としてペムブロリズマブ及びオラパリブの併用投与群とペムブロリズマブ及び化学療法併用投与後に維持療法としてペムブロリズマブ単独投与群を化学療法投与群と比較する二重盲検、無作為化、第Ⅲ相試験」(実施責任者・継続)

渡利英道：(企業治験)「再発性又は転移性子宮頸がんを対象に、REGN2810 と治験担当医が選択した化学療法とを比較する非盲検、無作為化、第Ⅲ相試験」(実施責任者・継続)

渡利英道：(企業治験)「白金製剤による初回化学療法を受けた BRCA 変異を有する進行卵巣癌患者 (FIGO 進行期分類Ⅲ～Ⅳ期) にオラパリブを維持療法として単独投与する無作為化二重盲検プラセボ対照多施設共同第Ⅲ相試験」(実施責任者・継続)

渡利英道：(企業治験)「高リスクの局所進行子宮頸癌患者を対象とした MK-3475 と同時化学放射線療法の併用療法及び同時化学放射線療法の単独療法を比較する二重盲検、無作為化、第Ⅲ相試験 (KEYNOTE-A18 / ENGOT-cx11)」(実施責任者・継続)

渡利英道：(国立がん研究センター研究開発費)「成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究」(分担研究者・継続)

長 和俊：(受託研究) (COI プログラム)「食と健康の達人」(分担研究者・継続)

長 和俊：(受託研究) (COI プログラム)「食と健康の達人」(若手) (分担研究者・継続)

長 和俊：(受託研究)「遺伝性間質性肺疾患等の遺伝子検査に関する報告書作成支援」(分担研究者・継続)

馬詰 武：(受託研究)「ドナー細胞からのミトコンドリア単離と単離ミトコンドリア機能解

- 析に関する基礎研究」 (分担研究者・新規)
- 馬詰 武：(受託研究)「フレキシブルセンサで胎動と子宮収縮とを検知する研究」
(分担研究者・新規)
- 馬詰 武：(受託研究)「北の社会イノベーション部門」 (分担研究者・新規)
- 馬詰 武：(受託研究)「マスクに関する指導」 (分担研究者・新規)
- 馬詰 武：(受託研究)「新しい感染防御機能をもった防護眼鏡の開発指導」
(分担研究者・新規)
- 馬詰 武：(受託研究) (COI プログラム)「食と健康の達人」 (分担研究者・継続)
- シャロン・ハンリー：(受託研究)「シミュレーションモデルに基づく個別化がん予防アプローチの効果検証研究」
(分担研究者・継続)
- 中川絹子：(企業治験)「早発型重症妊娠高血圧腎症患者を対象とした KW-3357 の第Ⅲ相ランダム化プラセボ対照二重盲検比較試験」
(実施責任者・継続)

助成金・奨学金

- Sharon Hanley：(Great Britain Sasakawa Foundation)「Japan and UK Collaboration to Support HPV Based Interventions for the Prevention of Cervical Cancer」
(With Dr Kate Cuschieri, Edinburgh University) (研究分担者・継続)
- Sharon Hanley：(大和日英基金)「A Japan UK collaboration using 21st century technology to improve access to and participation in cervical cancer screening programs」(With Professor Margaret Cruickshanks, Aberdeen University)
(研究分担者・継続)

受賞・表彰

2020 年 11 月～2021 年 10 月
(※：過年度未掲載分)

第 60 回日本産科婦人科内視鏡学会
櫻木範明：杉本賞
「内視鏡下手術と広汎子宮全摘術」

2020 年 10 月 16 日 (WEB) ※

北海道大学医学部
長 和俊：平成 31 年・令和元年度 エクセレントティーチャー 最優秀賞
Sharon Hanley：平成 31 年・令和元年度 エクセレント・ティチャー 優秀賞

11 月 18 日 (北大)

国際リンパ浮腫フレームワーク・ジャパン研究協議会 (ILFJ)
小林範子：功労賞
「International Lymphedema Framework Japan 10th Anniversary Award (2020)」

11 月 26 日 (愛知)

第三回日本オープンイノベーション大賞学術会議
馬詰 武：会長賞
「低出生体重児減を実現した“岩見沢市・北海道大学の産学地域共創プロジェクト”

2021 年 2 月 25 日 (東京)

北海道大学大学院医学研究院
Sharon Hanley：優秀論文賞
「Impact of HPV vaccine hesitancy on cervical cancer in Japan: a modelling study」

3 月 11 日 (北大)

公益社団法人日本産科婦人科学会
森川 守：2020年度 ベストレビューアー賞
「Journal of Obstetrics and Gynaecology Research Best Reviewer Award (2020)」

4 月 22 日 (東京)

北海道大学医学部
長 和俊：令和2年度 エクセレント・ティチャー 優秀賞

8月18日 (北大)

ベストドクターズ社
小林範子：Best Doctors in JapanTM 2020-2021 (2020)

学位取得者

博士（医学）

令和3年6月30日

眞山 学徳

妊娠高血圧症候群における補体系の関与および臓器障害の指標としての
血小板減少についての検討

Complement activation in preeclampsia and thrombocytopenia as a
sign of maternal organ damage

外国留学

眞山 学徳

University of Pennsylvania

Department of Biomedical Sciences, School of Veterinary Medicine

2021年5月～現在

北大産婦人科教室 および関連病院（2021年11月1日現在 敬称略）

産婦人科教授	渡利 英道						
保健学科学院教授	蝦名 康彦						
准教授	工藤 正尊	長 和俊					
講師	小林 範子	馬詰 武					
助教	武田 真人	加藤 達矢	金野 陽輔	三田村 卓	千葉 健太郎		
	井平 圭	遠藤 大介	中川 絹子	朝野 拓史	董 培新	（翟 天玥）	
助手	古田 伊都子						
大学院生（医員）	斎藤 良玄	石塚 泰也	山崎 博之	黒須 博之	能代 究	藤井 タケル	
医員	小林 由佳子	良川 大晃	玉城 良	田中 景子	山本 竜太郎	工藤 ありさ	

関連病院							
天使病院	藤枝 聡子	（松下 容子）	田中 星入	（永井 匠）	川壽 彩	日沖 友香	（後藤 公美子）
市立札幌病院	平山 恵美	菅原 照夫	首藤 聡子	早賀 幸辰	箱山 聖子	川端 公輔	山口 正博 吉瀬 馨
	能代 知美	奥山 和彦					
札幌厚生病院	香城 恒彦	日下 眞純	三國 雅人	桑原 道弥	角江 昭彦	（三島 隆）	吉井 一樹 細川 亜美
北海道がんセンター	加藤 秀則	藤堂 幸治	見延 進一郎	山田 竜太郎	（箕輪 郁）	鈴木 裕太郎	
JCHO北海道病院	山田 俊	小田 泰也	小山 貴弘	佐々木 瑞恵	小野寺 康全	山村 満恵	金川 明功
KKR札幌医療センター	西 信也	涌井 之雄	池田 研	田中理恵子	木村 敬子	橋本 大樹	
手稲溪仁会病院	藤野 敬史	山田 秀人	和田 真一郎	福士 義将	中島 亜矢子	（太田 創）	（都築 陽欧子） 中谷 真紀子
	（滝本 可奈子）	（小野 洋輔）	（松本 沙知子）	（西村 真唯）	（小嶋 一司）	（島袋 朋乃）	（浅井 聡子） （堀内 美香）
	（足立 岳貴）	（小池 和生）	（小林 雄大）				
北海道対がん協会札幌センター	藤田 博正	岡元 一平					
札幌徳洲会病院	関 敏雄	（河井 紀一郎）	（名和 正行）				
市立江別病院	中郷 賢二郎	赤羽 慧一郎	渡邊 碧	佐藤 博			
砂川市立病院	津田 加都哉	山下 陽一郎	宇田 智弘	櫻井 愛美	佐野 友宇子	佐藤 元哉	
滝川市立病院							
美唄市立病院							
芦別市立病院							
深川市立病院							
旭川厚生病院	光部 兼六郎	（吉田 俊明）	小田切 哲二	野崎 綾子	（中島 えりか）	（杉山 沙織）	三坂 琴美
	（今田 冴紀）	山田 和佳					
富良野協会病院	堀 保彦	（石川 雅嗣）					
市立小樽病院	金内 優典	青山 聖美	櫻木 範明	星 信哉			
倶知安厚生病院	早川 和彦						
市立千歳市民病院	津村 宣彦	越田 高行	菊池 研	齋藤 洋			
苫小牧市立総合病院	藤本 俊郎	佐藤 修	島畑 顕治	山田 恭子	宮城 正太	三國史嵩	
王子総合病院	野村 英司	勘野 真紀	中陳 哲也	秋江 惟能	高岡 真佐人		
浦河日赤病院	苫小牧市立（2X）／王子（2X）／千歳（1X）／KKR（1X）／大学（2X）						
八雲総合病院	白銀 透						
函館中央病院	片岡 宙門	田沼 史恵	古田 祐	小館 英明	推名 浅香	今泉 翠	安藤 里沙 五十嵐 冬華
公立茅室病院							
帯広厚生病院	（川口 勲）	服部 理史	森脇 征史	明石 大輔	飯沼 洋一郎	松宮 寛子	中山 大輝
	（土肥 龍平）	安田 真子					
釧路赤十字病院	山口 辰美	東 正樹	米原 利栄	青柳 有紀子	（東 大樹）	（上田 あかね）	前田 悟郎 （鈴木 凜）
	（吉増 崇志）						
根室市立病院							
網走厚生病院	鈴木 賀博						
中標津町立病院	松崎 登	（島野 敏司）	（笠原 玲奈）				
たばた産婦人科クリニック	田畑 雅章	田畑 浩一					
札幌マタニティ・ウイメンズHP	高後 亮	高後 裕匡	大久保 仁	横尾 洋一	（上村 淳一）	河口 哲	（村尾 かおり） 有賀 敏
	（小泉 明希）	（倉橋 克典）	（沢井 かおり）	蔵谷 美乃里			
札幌マタニティ南1条クリニック	八重樫 稔		リズムック婦人科クリニック	山本 律			
札幌マタニティ・ウイメンズJRタワーC	晴山 仁志		響きの社クリニック	西谷 雅史			
ふかざわ病院	深沢 けい子		旭川レディースクリニック	佐藤 広文			
さくら女性クリニック	土橋 義房		おおこうち産科婦人科	大河内 俊洋			
はしもとクリニック（施設）	橋本 昌樹		マミーズクリニックちとせ	島田 茂樹			
ブリモウィメンズクリニック（施設）	田中 信一		函館ほんどおりクリニック	工藤 隆之			
高岡レディースケアクリニック	高岡 波留人		栄町レディースクリニック	西田 竜太郎			
中央メディカルクリニック	石田 君子		福住産科婦人科クリニック	保坂 昌芳	（小野 方正）		
アップルレディースクリニック	工藤 正史		ベルル女性クリニック	武田 真光			
川上ウイメンズクリニック	川上 博史		こじま産婦人科	小島 誠介	小島 崇史		
湯の川女性クリニック	小葉松 洋子		遠藤桔梗マタニティクリニック（施設）	遠藤 力			
帯広レディースクリニック	北澤 克彦		セントベビークリニック	佐々木 雅弘			

（ ）は同門会、WINDともに未入会者 / 慎重に作成しておりますが誤記などお気づきの点は幹事長までご連絡くださいましたら幸いです

令和3年度個人社員人事異動（一部令和2年度含む/敬称略）

	氏 名	現勤務先	異動日	新勤務先
01	森川 守	北大病院	2021.03.31	退会（関西医科大学教授就任）
02	菅原 照夫		2021.03.31	退会（市立札幌病院）
03	敦賀 律子		2021.03.31	退会
04	山本 竜太郎	市立札幌病院	2021.04.01	北大病院
05	山口 正博	天使病院	2021.04.01	市立札幌病院
06	鈴木 裕太郎	砂川市立病院	2021.04.01	北海道がんセンター
07	櫻井 愛美	北大病院	2021.04.01	砂川市立病院
08	玉城 良	王子総合病院	2021.04.01	北大病院
09	中陳 哲也	北大病院	2021.04.01	王子総合病院
10	田中 景子	苫小牧市立病院	2021.04.01	北大病院
11	川崎 彩	苫小牧市立病院	2021.04.01	天使病院
12	宮城 正太	帯広厚生病院	2021.04.01	苫小牧市立病院
13	吉井 一樹	帯広厚生病院	2021.04.01	札幌厚生病院
14	飯沼 洋一郎	旭川厚生病院	2021.04.01	帯広厚生病院
15	三坂 琴美	北大病院	2021.04.01	旭川厚生病院
16	橋本 大樹	釧路赤十字病院	2021.04.01	KKR 札幌医療センター
17	能代 知美		2021.04.01	北大病院
18	黒須 博之	北海道がんセンター	2021.05.01	北大病院
19	高岡 真佐人	函館中央病院 （初期研修2年目）	2021.04.01	北大病院 （新入会・専攻医1年目）
20	日沖 友香	市立札幌病院 （初期研修2年目）	2021.04.01	天使病院 （新入会・専攻医1年目）
21	佐藤 元哉	総合東京病院 （初期研修2年目）	2021.04.01	砂川市立病院 （新入会・専攻医1年目）
22	山田 和佳	函館中央病院 （初期研修2年目）	2021.04.01	旭川厚生病院 （新入会・専攻医1年目）
23	三國 史嵩	苫小牧市立病院 （初期研修2年目）	2021.04.01	苫小牧市立病院 （新入会・専攻医1年目）
24	五十嵐 冬華	函館中央病院 （初期研修2年目）	2021.04.01	函館中央病院 （新入会・専攻医1年目）
25	安田 真子	帯広厚生病院 （初期研修2年目）	2021.04.01	帯広厚生病院 （新入会・専攻医1年目）
26	佐治 ひな子	新渡戸記念中野総合病院 （初期研修2年目）	2021.04.01 （予定）	北大病院（6.1着任） （新入会・専攻医1年目）
27	佐治 ひな子	北大病院	2021.06.30	退会
28	奥 聡	国内留学（大阪）	2021.06.30	退会
29	平畠 功二		2021.07.31	退会
30	能代 知美	北大病院	2021.10.01	市立札幌病院
31	工藤 ありさ	王子総合病院	2021.10.01	北大病院
32	高岡 真佐人	北大病院	2021.10.01	王子総合病院

卒業年次別 W I N D個人社員名簿 （令和3年11月1日現在、敬称略）

卒業年次	氏 名
48	深沢 けい子・星 信哉
49	関 敏雄
51	櫻木 範明・佐藤 博
52	大久保 仁・藤田 博正
53	高岡 波留人・山口 辰美・堀 保彦
54	佐川 正・津村 宣彦
55	奥山 和彦・田畑 雅章・藤野 敬史・石田 君子・相原 稔彦
56	武田 直毅・古田 伊都子
57	津田 加都哉・武井 弥生
58	加藤 秀則・吉田 博
59	松崎 登
60	長 和俊・早川 和彦
61	工藤 正尊・涌井 之雄
62	工藤 正史・香城 恒磨
63	三國 雅人・山下 陽一郎・山田 俊
平成元年	東 正樹・金内 優典・工藤 隆之・越田 高行・金野 宏泰・八重樫 稔・和田 真一郎・渡利 英道
2	平山 恵美・桑原 道弥・野村 英司・蝦名 康彦
3	岡元 一平・北澤 克彦・武田 真人・土橋 義房・服部 理史
4	荒木 直人・佐藤 修・首藤 聡子・白銀 透・西 信也・光部 兼六郎
5	小野寺 康全・片岡 宙門・角江 昭彦・藤堂 幸治・福士 義将・見延 進一郎・渡利 道子・藤本 俊郎
6	池田 研・川上 博史・勘野 真紀・菊地 研・小林 範子・島田 茂樹
7	山田 崇弘
8	大場 洋子・杉山 英智・早貸 幸辰・保坂 昌芳・米原 利栄
9	小田 泰也・中島 亜矢子・西田 竜太郎・野呂 紀子・森脇 征史・中郷 賢二郎
10	高後 裕匡
11	加藤 達矢・田沼 史恵
12	小田切 哲二・河口 哲・金野 陽輔・島畑 顕治・鈴木 賀博・武田 真光
13	青山 聖美・佐々木 瑞恵・三田村 卓
14	青柳 有紀子・小山 貴弘・赤石 理奈
15	明石 大輔・山村 満恵
16	飯沼 洋一郎
17	小島 崇史・田中 理恵子・千葉 健太郎・中谷 真紀子・古田 祐・箱山 聖子
18	宇田 智浩・山田 恭子
19	井平 圭・馬詰 武・遠藤 大介・野崎 綾子
20	齊藤 良玄・嶋田 知紗・中川 絹子・藤枝 聡子・吉井 一樹
21	石塚 泰也・川端 公輔・小林 由佳子・木村 敬子・前田 悟郎・山口 正博・小館 英明・山田 竜太郎
22	朝野 拓史・大原 康弘・蔵谷 美乃里・細川 亜美・松宮 寛子・山崎 博之・黒須 博之
23	能代 究・田中 星人・眞山 学徳
24	能代 知美・野口 愛菜
25	藤井 タケル
26	金川 明功・櫻井 愛美・田中 景子・玉城 良・中陳 哲也・橋本 大樹・良川 大晃・鈴木裕太郎
27	赤羽 慧一郎・秋江 惟能・川崎 彩・宮城 正太・今泉 翠
28	三坂 琴美・渡邊 碧
29	安藤 里沙・工藤 ありさ・山本 竜太郎
30	吉瀬 馨・佐野 友宇子・中山 大輝
31	五十嵐 冬華・佐藤 元哉・高岡 真佐人・日沖 友香・三國 史嵩・安田 真子・山田 和佳

北大産婦人科在職者

（令和３年１１月１日現在、敬称略）

教 授 :	渡利 英道
保健科学研究所教授 :	蝦名 康彦
准 教 授 :	長 和俊（周産母子センター、診療教授） 工藤 正尊（生殖医療センター）
講 師 :	小林 範子（婦人科）、馬詰 武（産科病棟医長）
特 任 研 究 講 師 :	
助 教 :	武田 真人（婦人科）、加藤 達矢（婦人科）、 金野 陽輔（WIND幹事長、婦人科外来医長）、三田村 卓（婦人科）、 千葉健太郎（産科外来医長）、遠藤 大介（婦人科病棟医長）、 井平 圭（婦人科）、中川 絹子（産科）、朝野 拓史（産科）、 董 培新（産婦人科学教室）、翟 天玥（産婦人科学教室）
助 手 :	古田 伊都子（産婦人科学教室）
大 学 院 生 :	齊藤 良玄、石塚 泰也、山崎 博之、黒須 博之、能代 究、 藤井 タケル、徐 道知、犬走 真弓（修士）
医 員 :	小林 由佳子、良川 大晃、玉城 良、田中 景子、山本 竜太郎 工藤 ありさ
海 外 留 学 :	久田（嶋田）知紗、眞山 学徳（博士研究員）
訪問外国人研究員 :	（－）
招 へ い 教 員 :	（－）
非 常 勤 講 師 :	山田 秀人、山田 俊、山田 崇弘、河口 哲
客 員 臨 床 医 師 :	藤野 敬史（客員臨床教授）、河口 哲（客員臨床講師）
臨床系連携分野教員 :	婦人科：加藤 秀則（客員教授）、金内 優典（客員准教授）、 藤堂 幸治（客員准教授） 産 科：山田 俊（客員准教授）
教 室 秘 書 :	伊藤 絵美、後藤 静江、鎌上 早苗、佐々木 雅美、水口 加奈子
ク ラ ー ク :	山崎 るりこ（婦人科 CR）、篠原 美佐子（産科 CR）、浅野 明子（NICU CR）、 齊藤 沙希（婦人科外来）、加我 杏弓（産科外来）
技 術 補 佐 員 :	大高 幸子（生殖医療センター）

令和3年度W I N D 執行部

(令和3年11月1日現在)

幹事長	金野 陽輔
幹事長補佐	加藤 達矢
副幹事長	馬詰 武
庶 務	齊藤 良玄 山崎 博之
広 報	良川 大晃
研 修	遠藤 大介
リクルート	井平 圭 能代 究
監 事	津村 宣彦 佐藤 博
選挙管理委員長	大河内 俊洋